

平成二十六年三月

特39

河地文庫目錄

金沢市立玉川図書館

近世史料館

河地文庫目錄

序

この度、河地信子氏から史料を御寄贈いただき、当館の三十九番目の特殊文庫となる「河地文庫」として整理し、保存することといたしました。

河地家は、加賀八家の本多家に代々仕えた陪臣であり、本多家内では家老や頭役などを勤めた重臣の家柄で、明治初年の「先祖由緒并一類附帳」によれば、禄高は二〇〇石になります。本史料群は、知行宛行状や由緒・家計など、河地家に直接関わるものが多く、陪臣の実態がうかがえるとともに、加賀藩が関与した政治事件、さらには幕末政治における意見書や風説留など、多岐にわたる内容となっております。とりわけ、明治二年（一八六九）八月に金沢城二之丸御殿において主人の本多政均が暗殺された事件については、本多家中における主従関係がうかがえる貴重なものであります。

河地家の方々が長年にわたり守ってこられたこれらの貴重な史料を、今後も長く保存し、後世に伝えていくと共に、本目録が、多くの方々に利用・活用していただければ幸いです。

終わりに、貴重な史料を御寄贈いただいた河地家に対し、心からお礼を申し上げます。

平成二十六年三月

金沢市立玉川図書館

近世史料館

館長 廣田康太郎

凡例

一、本目録は、加賀八家の本多家に代々仕えた河地家の文書である。平成十六年度に河地信子氏から近世史料館に寄贈されたものであり、「河地文庫」の名称を付し、金沢市立玉川図書館近世史料館の三十九番目の特殊文庫となる。

一、目録記載は（分類）番号・（史料）標題・（作成）年月日・差出（作成者名）・宛名・形態・墨付（冊子の場合）・点数の順に記した。標題については原題のままのもの、補足したもの、新たに付したものがあがるが、それらについて各々注記はしていない。史料の作成年月日については、記載のない場合でも推定できるものについては（ ）を付して推定年を記した。冊子物の丁数は白紙部を除いた墨付部の丁数である。次行には内容と複点数資料の細目や内容項目・内容年代などを記した。

一、史料の分類は、〔Ⅰ 支配〕〔Ⅱ 主家・親類〕〔Ⅲ 河地家〕〔Ⅳ 学芸〕〔Ⅴ 絵図〕の五分類とし、その下に小分類を施した。

一、史料の配列は分類毎に編年を基本とし、年代未詳の場合は干支のあるもの、月日のあるもの、年月日未詳のもの順に配した。

一、標題や解題中に身分上の呼称が出てくるが、これは過去の身分制を肯定する、あるいは差別を容認するものではない。歴史上の事実として我々の歴史の中に存在したものであり、歴史・時代を認識する上で隠したりすべきではない、との判断から史料にあるがままに表記した。

一、河地文庫目録の作成、編集及び解説は宮下和幸が担当し、文庫の整理及び公開のための登録作業は本館職員全員で行った。

三九 河地文庫目錄 目次

<p>39 38 37 36 35 34 33 32 31</p> <p>学業 葬儀 交際 土地・建物 家計 遺書 知行 勤仕 由緒・家系・履歴</p>	<p>III 河地家</p>	<p>22 21</p> <p>諏訪家 本多家</p>	<p>II 主家・親類</p>	<p>14 13 12 11</p> <p>加賀藩 政治事件 意見書・風説留等 一般</p>	<p>I 支配</p>	<p>37 35 32 29 24 23 21 16 15 15</p> <p>11 9 9 7 5 2 1 1</p>
<p>河地文庫解説</p>	<p>V 絵図</p>	<p>47 46 45 44 43 42 41</p> <p>洋書 宗教 能・香 詩歌 文芸 兵法・武芸 歴史</p>	<p>IV 学芸</p>	<p>55 53 53 53 52 51 48 44 41 40 40</p>		



佐々成政判物(越前人数の件につき) (39. 11-1)



末森城蹟等図 (39. 5-6①)

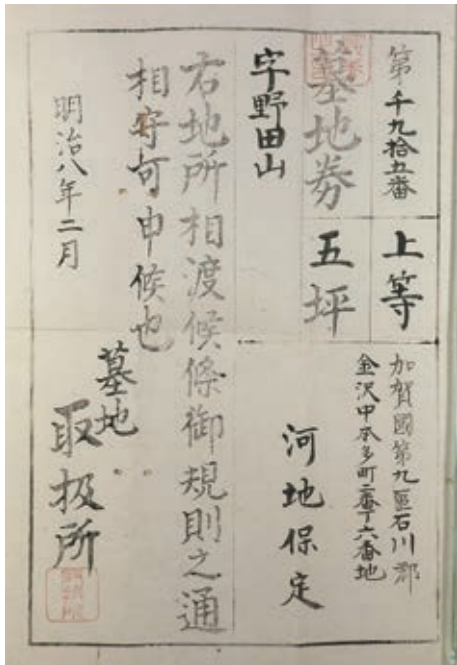
加當代御附被 御當弘化
 百箇直入御下留被採被
 御出御被附御下其被
 下之
 長部院様御進被採被 御當
 同月御附被採被 御當同
 二月御發被採被 御當
 御被附御下其被 下其被
 御當代弘化四年二月御當
 御加用被採被 御當相被採
 石被採
 河地弥次郎
 女
 河地被採被
 日蓮宗
 右玉圓御此御座被採以上
 奉承弘化二年二月 御當被採

系図帳 (39. 31-1)

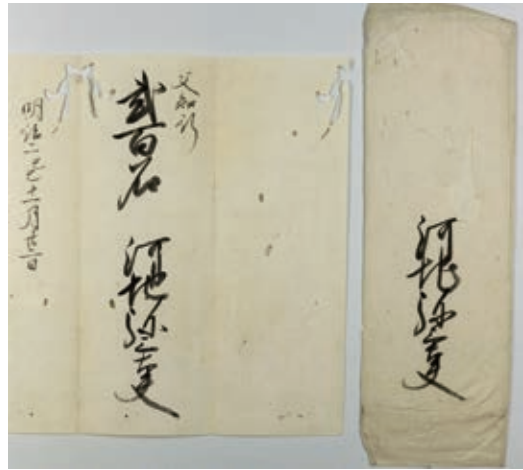
知行宛行状 (長井郡中小松之内200石) (39. 33-1)

知行所附之事 (120石) (39. 22-11)

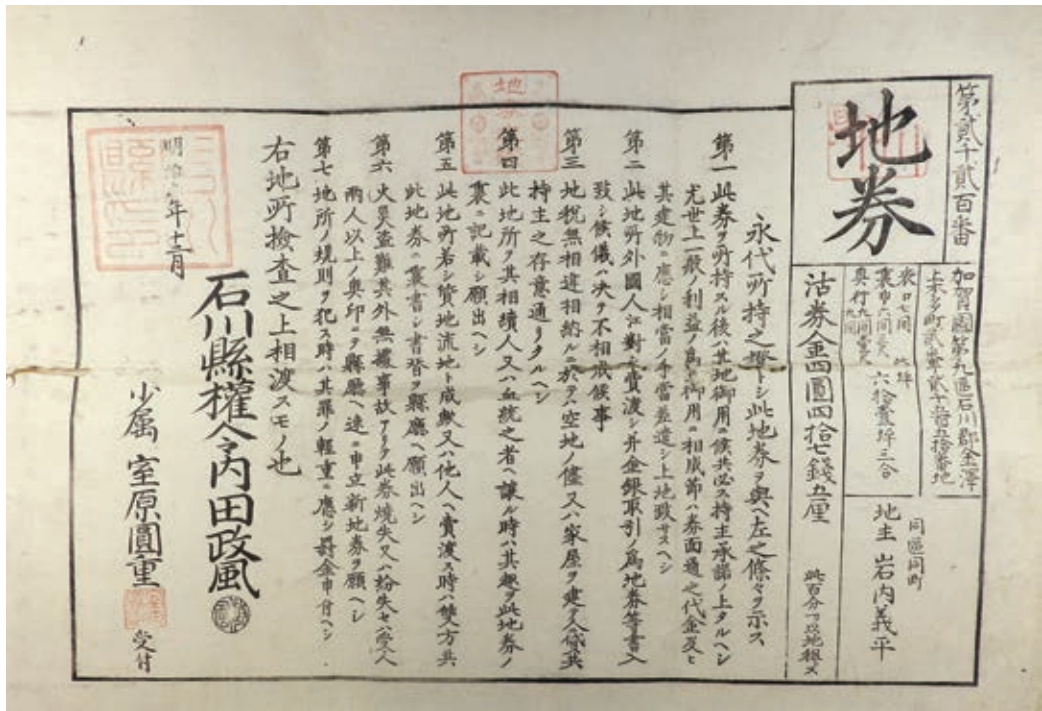
河地弥次右衛門遺書 (39. 34-5)



野田山墓地券 (39.38-1)



知行目録(父知行200石) (39.33-15)



地券 (39.36-1)

番号 標 題

年 月 日

型 態

点 数

I 支 配

11 一 般

- 1 佐々成政判物(越前人数の件につき) 10月26日 折紙 包封有 1
成政(花押)↓河地助二郎、河地三四郎、大野源十、河地三「」(封上書)「大守様御判之者」
- 2 豊臣秀頼書状写 10月3日 折紙 1
(豊臣)秀頼↓本多上野介(正純)
- 3 公方様御拝領之さや御取分御拝領之件封 年未詳 折封 1
(封上書)「浄雲院様文化十二年亥九月御供二而江戸表江御出被遊、於江戸表従公方様御拝領之さや御帰駕之上御取分善靈院様御
拝領也、其節御用人御戴被成申付候也」
- 4 後水尾院等御法号帳 年未詳 横帳(26丁) 1
- 5 前田家年表(天正13年〜文禄4年) 年未詳 こより綴(38丁) 1
- 6 前田家歴代一覽 年未詳 一紙 1
- 7 齊泰・慶寧等唱名書上 年未詳 切紙 1
- 8 太政官日誌抜書 (慶応4年)2月17日 太政官代三職 こより綴(3丁) 1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
9	太政官日誌	①②慶応4年2月 ③④⑤⑥⑦慶応4年3月 ⑧⑨⑩慶応4年4月 ⑪⑫⑬慶応4年閏4月 ⑭慶応4年5月	袋綴(木版)	14
	御用御書物所 (京都)村上勘兵衛、井上治兵衛			
	①第一 ②第三 ③第四 ④第五 ⑤第六 ⑥第七 ⑦第八 ⑧第九 ⑨第十 ⑩第十一 ⑪第十二 ⑫第十三			
	⑬第十四 ⑭第廿一			
10	太政官日誌 明治3年第7号復讐始末	明治3年	袋綴(10丁)	1
11	金沢藩庁職員録	(明治3年1月)	横半帳(17丁)	1
12	元老院設置等につき詔書 第58号布告	明治8年4月14日	野紙	1
13	石川県発展の件につき協力依頼状	(明治8年)8月20日	袋綴(3丁)	1
	(石川県権令)桐山純孝↓前田三吉、村井恒			
14	金沢開始三百年祭にて利嗣様御当地御出被遊につき書付下書	明治24年10月20日	折紙	7
12 意見書・風説留等				
1	魯西亜書翰和解	弘化、嘉永期	袋綴(11丁)	1
2	魯西亜来船日記	嘉永6年	袋綴(17丁)	1
3	魯西亜への御返翰	嘉永6年	袋綴(3丁)	1
	(老中)阿部伊勢守正弘、牧野備前守忠雅、松平和泉守乘全、松平伊賀守忠優、久世大和守広周、内藤紀伊守信親↓			

- | | | | | | |
|----|----------------------------|----------------|-------------------|----------|---|
| 4 | 薩州侯(島津斉彬)上書 | (嘉永6年)7月29日 | (薩摩藩主)松平薩摩守(島津斉彬) | 袋綴(3丁) | 1 |
| 5 | 肥前佐賀藩永山武貞東遊記 | 嘉永甲寅(7年)8月 | 羽峰小史綱記 | 袋綴(27丁) | 1 |
| 6 | 水府公沢井氏への御諭書并山脇先生増補 | 甲寅(嘉永7年)仲秋 | 山脇正準(治右衛門) | 袋綴(5丁) | 1 |
| 7 | 琉球国へ異国船渡来につき松平薩摩守(島津斉彬)等届書 | 嘉永期 | | 袋綴(9丁) | 1 |
| 8 | 唐国風説および亜米利加規定書同蘭文和解 | 安政4年8月 | | 袋綴(15丁) | 1 |
| 9 | 東北風談 | 安政5年 | 薩藩桜島陳人肝付兼武 | 袋綴(7丁) | 1 |
| 10 | 井伊愛磨(直憲)家督相続内達(後欠) | (万延元年)4月28日 | ↓(彦根藩主)井伊愛磨 | 切続紙 | 1 |
| 11 | 毛利侯(敬親)建白之旨等覚書 | 文久2戊4月 | | 折紙 | 1 |
| 12 | 東都風説書 | 文久2年 | | 袋綴(7丁) | 1 |
| 13 | 幕府御使番九州見分および長州御使一件聞書 | 文久3年 | | 袋綴(8丁) | 1 |
| 14 | 毛利大膳(敬親)父子につき徳川慶勝言上書等留 | 元治元年11月〜慶応元年4月 | | 袋綴(5丁) | 1 |
| 15 | 毛利大膳(敬親)父子御裁許につき書状等留 | 寅(慶応2年)4月〜5月 | | 切続紙 | 1 |
| 16 | 京都御沙汰書之覚 | 慶応2年寅7月 | | 切続紙 | 1 |
| 17 | 京都取沙汰書 | 慶応2年寅8月 | | 長帳(4丁) | 1 |
| 18 | 長州より指出候書付写 | (慶応2年) | | こより綴(3丁) | 1 |
| 19 | 因州侯(池田慶徳)建白書等留 | 慶応3丁卯8月〜9月 | | こより綴(5丁) | 1 |
| 20 | 芸州侯(浅野長訓)建白等留 | (慶応3年)10月 | | こより綴(4丁) | 1 |
| 21 | 召之諸侯上京により取計向伺候等留 | 慶応丁卯(3年)10月 | | こより綴(4丁) | 1 |
| 22 | 尾張大納言(徳川慶勝)言上書等留 | (慶応3年)10月〜11月 | | こより綴(3丁) | 1 |

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
23	兵庫開港之義につき諸大名建白等留 (慶応3年)		袋綴(16丁)	1
24	御親征行幸中行在所日誌 ①②③④御用御書物所 京都村上勘兵衛・井上治兵衛、取次 大坂浅井吉兵衛・岡田茂兵衛、書房 大坂大野木市兵衛 ⑤⑥御用御書物所 京都村上勘兵衛・井上治兵衛、取次弘通所 京都辻本仁兵衛	①②慶応4年3月 ③④慶応4年4月 ⑤⑥慶応4年閏4月	袋綴(木版)	6
25	雲井の春雨等写 ①第一 ②第二 ③第三 ④第四 ⑤第五 ⑥第六	(慶応4年) 2月	袋綴(3丁)	1
26	徳川慶喜征討につき各国公使上京之事(後欠) (慶応4年)	明治紀元戊辰(元年)冬11月	一紙	1
27	官許藩兵私考 御用御書物所 京師菅屋幸七、俵屋徳太郎		袋綴(木版13丁)	1
28	宮本頼三建白	明治2年正月13日	袋綴(12丁)	1
29	蚊睫独語	明治2巳8月写	袋綴(6丁)	1
30	休物議安民心議建白書 藤寛正・草薙尚志・佐々木辛一郎・林頭三・高田信清・和角富業・石川九郎・島田一良(以上、石川県貴属士族)、 陸義猶(東京府貴属士族) ↓左院	明治7年3月29日	罫紙綴(4丁)	1
31	檄文等書上 陸義猶(東京府貴属士族) ↓左院	(明治10年4月)	袋綴(2丁)	1
32	大坂(浪花)城大手門張紙写	4月5日	切続紙	1
33	亜米利人申立候趣につき評議等上意	5月25日	切続紙	1

↓大広間

34	薩摩藩より長州周旋依頼状	7月	切続紙	1
35	井伊氏内令	辛9月	袋綴(28丁)	1
36	転法輪(三条)殿上書写	年未詳	切続紙	1
37	寵命蒙り候につき請書	年未詳	切続紙	1
38	復古勤王并佐幕勤王等論書上	年未詳	こより綴(3丁)	1
39	大宮御所非常御行列留	年未詳	横帳(6丁)	1
40	全国一致之体ヲ論スル議等留	年未詳	袋綴(5丁)	1
41	国家間犯罪人引渡之義につき書付	年未詳	野紙	1
42	朝鮮国より答書訳	年未詳	袋綴(2丁)	1
43	祭西郷隆盛文等留書(断簡)	年未詳	こより綴(仮綴8丁)	1
44	西郷遺訓	年未詳	野紙	1
45	雑書(島田一良斬姦状等)	年未詳	野紙綴(36丁)	1
梯田主				
13 政治事件				
1	水戸浪士西上軍中日記	元治元年7月～12月	袋綴(6丁)	1
2	信州賊徒追討御用につき覚	(元治元年)11月	長帳(3丁)	1
3	信州小枚郡長窪古町村より来状之写拔書	(元治元年)子11月	袋綴(6丁)	1
4	信州諏訪領和田峠にて浪人および松本藩戦闘之旨等留	(元治元年11月)	長帳(5丁)	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
5	水戸浪士上京一件につき書状等留	元治元年12月	袋綴(8丁)	1
6	水戸浪士降伏一件につき書状等留	元治元年12月	袋綴(14丁)	1
7	越前表水府浪士屯集につき御加勢御供日記 (元治元年12月)	(元治元年12月)	長帳(4丁)	1
8	浪士西上につき越前出張之件書上	(元治元年12月)	切紙	3
9	長州処置之件につき嘆願書等留	元治元年10月、12月	袋綴(7丁)	1
10	長州御征伐御備書	(慶応元年) 4月	切続紙	1
11	外国船兵庫来航により条約勅許につき覚	慶応元年10月	袋綴(4丁)	1
12	長州再征につき洛中警衛等覚	(慶応元年) 11月	袋綴(4丁)	1
13	防長処置之義につき將軍進発の旨書上	(慶応元年)	切紙	1
14	長州再征にて戦鬪につき書状	(慶応2年) 6月14日	切続紙	1
15	長州御裁許違背につき使者差向之旨所司代より達写 (慶応2年) 6月		切続紙	2
	↓松平御名 (端裏書)「寅六月十五日京都詰方と指越写」			
16	長州征討苦戦につき心得申渡状	(慶応2年) 8月朔日	切続紙	1
	(老中)周防守(板倉勝静)↓万石以下			
17	大政奉還後諸藩様子抜書	(慶応3年) 10月19日	切続紙	1
	島田金五 (端裏書)「島田金吾紙面抜書」			
18	大政奉還につき三藩御請書等留	慶応3年10月	袋綴(7丁)	1

↓大目付、御目付

- | | | | | | |
|----|-------------------|---------------|----------|-----------|---|
| 19 | 大政奉還上奏文并御沙汰書 | (慶応3年) 10月 | (徳川) 慶喜↓ | 切続紙 | 2 |
| 20 | 諸侯禁裏御固ヶ所覚 | (慶応3年) 11月20日 | | 切続紙 | 1 |
| 21 | 王政復古につき御所より仰渡 | (慶応3年) 12月 | | こより綴(2丁) | 1 |
| 22 | 参内被留候御方并禁門御固メ衆等書上 | (慶応3年12月) | | 切続紙 | 1 |
| 23 | 徳川慶喜東退につき上奏文 | (慶応4年) 正月 | (徳川) 慶喜↓ | 切紙 | 1 |
| 24 | 鳥羽伏見一件書上 | (慶応4年1月) 4日夕 | | 切続紙 | 1 |
| 25 | 鳥羽伏見之戦口上書等留 | (慶応4年1月) | | こより綴(10丁) | 1 |
| 26 | 徳川慶喜恭順謹慎之義につき上意 | (慶応4年1月) | | 切紙 | 1 |
| 27 | 土佐藩泉州堺事件書 | (慶応4年) 2月 | | こより綴(3丁) | 1 |
| 28 | 信州小諸侯(牧野康濟)歎願書等留 | 慶応4戊辰年4月〜5月 | | こより綴(8丁) | 1 |
| 29 | 題施波斯而保爾戰爭図書上 | 年未詳 | | 切紙 | 1 |
| 30 | 京坂各位へ御内輪相揃候様書上 | 年未詳 | | 切紙 | 1 |
- 14 加賀藩**
- | | | | | | |
|---|------------------------------------|--|--|--------|---|
| 1 | 叙爵御礼として江戸表へ発足之件につき書状写 (嘉永元年) 正月25日 | | | 切紙 折封有 | 1 |
| | 長大隅守(連弘) ↓ 前田近江守(直良) (封上書)「御筆」 | | | | |
| 2 | 生麦事件之儀につき藩屏之任尽力申渡状 (文久3年) 2月28日 | | | 切続紙 | 1 |
| | ↓ 御官名御家来 | | | | |
| 3 | 前田慶寧退京につき前田斉泰親翰等留 元治元年 | | | 袋綴(3丁) | 1 |
| 4 | 長州征討へ長大隅守指加につき前田斉泰親翰写 (元治元年8月17日) | | | 切続紙 | 1 |

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
5	不破富太郎・千秋順之助処分申渡	(元治元年10月18日)	切続紙	1
6	前田斉泰参内拜辞願につき御沙汰書	丑(慶応元年)7月	切紙	1
7	近藤岩五郎遺書等留	慶応2年9月〜10月	袋綴(4丁)	1
8	近藤岩五郎一件につき愁歎状	慶応2年丙寅12月24日	切紙	1
	シャリヒンヤートル、伍堂春閣謹訳			
9	前田慶寧帰国願上奏文并帰国之儀御意書	(慶応3年)卯12月	切続紙	1
10	徳川内府討薩協力につき前田慶寧親翰	(慶応4年1月6日)	切紙	1
11	徳川慶喜征討之段朝廷より達につき申渡状写	(慶応4年)正月14日	袋綴(2丁)	1
		前田土佐守(直信)↓		
12	橋本関門等警固につき御達等留	(慶応4年)正月	袋綴(6丁)	1
13	越後鯨波にて高畠隊の戦況書上	(慶応4年)閏4月27日	切紙	1
14	越後鯨波の戦況書上	(慶応4年)閏4月27日	袋綴(7丁)	1
		こより綴(7丁)		
15	越後鯨波にて官軍戦鬪の様子書上等留	慶応4年	長帳(3丁)	1
		兵卒方↓壮猶館		
16	五小隊越後筋出陣につき人夫并武器等御渡願覚	辰(明治元年)9月	横帳(9丁)	1
		大西		
17	雑記帳(京都出張兵卒の武器雑用金等書上)	辰(明治元年)10月	切紙	1
		↓御横目		
18	多慶若(利嗣)様参内等御供人弾薬貯用申渡状	辰(明治元年)12月	折紙	1
19	北越戦争戦功により永世祿下賜につき書付	明治2年巳6月	切続紙	1
20	従来支配地惣高など取調理候様申渡状写	(明治2年)6月		
		行政官		

- | | | | | | |
|----|-------------------------|-------------|---------------|---------|---|
| 21 | 大藪清八郎隊等大宮御所警衛免除につき帰国申渡状 | (明治2年) | ↓組頭 | 切紙 | 1 |
| 22 | 斜線刻(改定給禄および現石割合覚) | (明治2年) | | 切続紙 | 1 |
| 23 | 廃藩置県布告につき藩軍事掛評議書上等 | 辛未(明治4年)7月 | ↓加賀宰相中將(前田慶寧) | 切続紙 | 1 |
| 24 | 北国筋鎮庄御沙汰書 | (慶応4年)4月15日 | 良政↓長大隅守 | 折紙 | 1 |
| 25 | 年賀につき書状 | 正月15日 | | 切続紙 | 1 |
| 26 | 教千代(斉敬)様御出御延引につき申付状 | 10月4日 | ↓御横目 | 切紙 | 1 |
| 27 | 御横目出席之義につき申渡状 | 12月 | 行政官↓御名 | 切紙 | 1 |
| 28 | 諸藩士并兵卒九門内通行等禁止之触写 | 12月 | 大参事↓ | 横帳(17丁) | 1 |
| 29 | 歎願之義御沙汰次第相心得候様書状 | 年未詳 | | 折紙 | 1 |
| 30 | 喧嘩一件 | 年未詳 | | 折本 | 1 |
| 31 | 上使之節御作法隅州殿留拔書 | 年未詳 | | 折本 | 1 |
| 32 | 組人漲等覚書(後欠) | 年未詳 | | 折本 | 1 |
- 前田兵部孝起、松平玄蕃康濟、小幡図書道朗、多賀典膳廉清、本多右門政良、上坂平兵衛景氏、奥村主税敬忠、永井多宮正安、
松平外記康久、小幡左京通久

II 主家・親類

21 本多家

- | | | | | | |
|---|----------------|----------|--|-----|---|
| 1 | 本多政均暗殺者処分并辞世書付 | (明治2年)8月 | | 切続紙 | 1 |
|---|----------------|----------|--|-----|---|

II 主家・親類

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
2	本多政均暗殺につき御親翰写等留	(明治2年) 8月	切続紙	1
3	賊徒引請願立之義につき申上状	(明治2年) 9月17日	切続紙	1
		河地↓		
4	本多政均暗殺につき賊徒引請願等之存意申上状	(明治2年) 9月22日	切続紙	1
		河地弥三大夫↓		
5	本多政均暗殺につき怨敵下賜歎願書	(明治2年) 9月26日	切続紙	1
		篠井等四人↓		
6	先君敵討之義につき書状等	(明治4年) 11月	長帳(5丁)	1
7	元主人本多従五位様暗殺之詮議につき嘆願書下書	年未詳	切続紙	2
8	報仇死刑之義につき愚案	年未詳	折紙	1
9	御歳附(本多政均子女)	明治6年~8年	切紙	1
10	本多家歴代忌日	明治8年	切続紙	1
11	田龍院(本多政成)御法事之件につき書状	4月21日	切紙 包封有	1
	↓(河地) 弥次右衛門 (封上書)「河地弥次右衛門殿」			
12	元服祝義につき判物	9月6日	折紙 折封有	1
	(本多) 安房政長↓河地権三郎 (封上書)「河地武右衛門殿」			
13	本多家旗指物等之図	年未詳	袋綴(11丁)	1
14	本多家歴代一覽	年未詳	一紙	1
15	本多家歴代一覽	年未詳	切紙	1
16	本多家御歴代院号書上	年未詳	切続紙	1

- 17 本多政和戒名書上 年未詳 切紙 1
- 18 本多政通戒名書上 年未詳 切紙 1
- 19 本多政均戒名書上 年未詳 切紙 1
- 20 御歴代様御靈屋等見取図 年未詳 一枚 28×78 cm 1

22 諏訪家

- 1 知行宛行状(三原郡慶野村之内等) 慶長18年12月20日 折紙 折封有 1
- 忠長(花押) ↓上嶋甚右衛門尉 (封上書)「諏方久大夫」
- 2 知行宛行状(備前国赤坂郡および岩生郡之内200石) 元和5年卯月11日 折紙 折封有 1
- 忠長(花押) ↓上嶋甚右衛門尉 (封上書)「諏訪八郎左衛門殿」
- 3 知行所附(40石) 11月1日 切紙 折封有 1
- 出井忠右衛門、吉田忠右衛門 ↓上嶋甚右衛門尉 (封上書)「上嶋甚右衛門尉とのへ」
- 4 知行目録等一括 7
- ①元和2年極月11日 ②③(元禄14年) ④寛保3年11月5日 ①折紙
- ⑤宝曆4甲戌12月6日 ⑥文政4辛巳10月6日 ⑦年未詳 ②④⑤⑥⑦切紙
- (全体 封上書)「諏訪平六郎」 ①(神尾) 主殿秀直 ↓諏訪八郎左衛門 ② ↓諏訪半平 ③ ↓諏訪三郎助 ③切紙(折封有)
- (封上書)「諏方三郎助」 ④ ↓諏訪久大夫 ⑤ ↓諏訪平六 ⑥ ↓諏訪權次郎 ⑦ ↓諏訪八郎左衛門 折封有
- ①知行宛行状(堪忍分として150石) ②知行目録(父八郎左衛門所知之内120石) ③知行目録(父八郎左衛門知之之内30石)
- ④拝領目録(白銀3枚)、⑤知行目録(遺知60石)、⑥知行目録(養父遺知120石)、⑦扶持目録(隱居料3人扶持)

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
5	知行宛行状(亡父八郎左衛門跡知150石) (本多)安房政長(「花押」)↓諏訪八郎左衛門	寛文3年7月16日	折紙	1
6	知行所附之事(150石) (本多政長)↓諏訪八郎左衛門	延宝2年12月11日	続紙 折封有	1
7	諏訪家先祖之覚 (本多政長)↓諏訪八郎左衛門 (封上書)「諏方八郎左衛門」	元禄13庚申2月日	続紙	1
8	知行所附之事(120石) 印「(本多)政敏」↓諏訪半平 (封上書)「知行所附 諏方半平」	元禄14辛巳年9月日	豎紙 折封有	1
9	知行所附之事(30石) 印「(本多)政敏」↓諏訪三郎助 (封上書)「知行所附 諏方三郎助」	元禄14辛巳年9月日	豎紙 折封有	1
10	知行所附之事(30石) 印「(本多)政質」↓諏訪尺右衛門	正徳6丙申年6月日	豎紙	1
11	知行所附之事(120石) 印「(本多)政質」↓諏訪半平 (封上書)「知行所附 諏方半平」	正徳6丙申年6月日	豎紙 折封有	1
12	知行所附之事(120石) 印「(本多)政昌」↓諏訪半平 (封上書)「諏方半平」	享保9甲辰年6月日	豎紙 折封有	1
13	扶持目録(3人扶持) ↓諏訪久大夫 (封上書)「諏訪茂作」	寛保2年4月8日	切紙 折封有	1

- 14 知行所附之事(120石) 寛延元戊辰年9月日 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政行」↓諏訪半平(封上書)「諏訪半平」
- 15 知行所附之事(60石) 宝曆(4)年(12月)6日 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政行」↓諏訪平六(封上書)「諏訪平六」
- 16 知行目録(父遺知之内残知60石引合) 宝曆10庚申正月26日 切紙 1
 ↓諏訪平六郎
- 17 知行所附之事(120石) 宝曆10庚申年正月26日 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政行」↓諏訪平六郎(封上書)「知行所附」
- 18 知行所附之事(120石) 寛政2庚戌年11月27日 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政行」↓諏訪平六郎(封上書)「知行所附」
- 19 知行目録(養父遺知120石) 寛政2庚戌11月27日 切紙 1
 ↓諏訪茂作
- 20 知行所附之事(120石) 寛政8丙辰年6月 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政成」↓諏訪茂作(封上書)「知行所附 諏訪平六郎」
- 21 知行所附之事(120石) 享和3癸亥年9月 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政礼」↓諏訪八左衛門(封上書)「知行所附 諏訪八左衛門」
- 22 知行所附之事(120石) 文政3庚申年9月日 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政和」↓諏訪八左衛門(封上書)「知行所附 諏訪八左衛門」
- 23 知行所附之事(120石) 文政4辛巳年10月6日 豎紙 折封有 1
 印「(本多)政和」↓諏訪権次郎(封上書)「知行所附 諏訪権次郎」

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
24	知行所附之事(120石) 印〔本多〕政通〕↓諏訪弥平太 (封上書)〔知行所附 諏訪弥平太〕	嘉永元戊申年4月日	豎紙 折封有	1
25	知行所附之事(60石) 印〔本多〕政均〕↓諏訪与三郎 (封上書)〔知行所附 諏訪与三郎〕	安政4丁巳年8月15日	豎紙 折封有	1
26	知行目録(故八左衛門知行120石之内) 陸軍仮軍曹辞令書	安政4丁巳年8月15日 辛未(明治4年)年4月	切紙 折封有	1
27	陸軍准少尉辞令書 金沢藩↓諏訪八郎 (封上書)〔諏訪権次郎〕	辛未(明治4年)年7月	切紙 折封有	1
28	軍務総局より辞令書(前欠)	辛未(明治4年)10月	切紙 折封有	1
29	少尉心得にて召集隊につき申渡状	辛未(明治4年)11月	切紙 折封有	1
30	遺祿相続申付状 石川県↓諏訪故八郎嫡子諏訪「」 (封上書)〔諏訪与三郎〕	壬申(明治5年)「」	切紙 折封有	1
31	神擡助持分之事 神保二右衛門尉↓道家久右衛門 (封上書)〔諏訪久大夫〕	7月20日	一紙 折封有	1
32	諏訪准小尉率兵隊上途前夜開宴賦	8月22日	切紙	1
33	横滨常清寺諏訪師文墓前等漢詩	年未詳	切紙	1
34	諏訪与三郎跡目相続申付状	年未詳	切紙 折封有	1
35			(封上書)〔諏訪平六〕	

36	諏訪八郎准中尉代務辞令	年未詳	↓諏訪八郎	切紙	1
37	静岡県徴兵支署へ出張之義につき書簡	年未詳		一紙	1
38	組替与力士共上納品々請取書封	文化13年1月24日		包封	1
39	諏訪八郎左衛門知行所附折封	年未詳		折封	1
	↓諏訪八郎左衛門 (封上書)「知行所付 諏訪八郎左衛門」				
40	諏訪半平知行所附折封	年未詳		折封	1
	↓諏訪半平 (封上書)「知行所附 諏訪半平」				

III 河地家

31 由緒・家系・履歴

1	系図帳	嘉永元年10月晦日	河地弥次右衛門	横帳(12丁)	1
2	系図帳	嘉永元年10月	河地弥次右衛門	横帳(6丁)	1
3	先祖由緒并一類附帳	明治3年10月	本多資松当分管轄河地弥↓土族方	袋綴(9丁) 付紙2枚有	1
4	先祖由緒拔書	年未詳		一紙	1
5	先祖由緒帳(断簡)	年未詳		一紙	1
6	先祖由緒帳(断簡)	年未詳		袋綴(仮綴3丁)	1
7	河地吉午郎履歴書	明治18年2月		罫紙	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
8	河地吉午郎履歷書	明治19年5月	野紙	1
9	河地吉午郎履歷書(後欠)	明治20年2月	一紙	1
10	河地無求士族指加につき雛形	年未詳	切紙	1
11	河地保弘名札	年未詳	切紙	7
32 勤 仕				
1	丹波高城責にて首取覚	年未詳	切紙	1
2	手寄ヶ所しらべ越候様申伝状 (封上書)「御近習頭在勤中天保十四年十月十一日夜被下候御筆」 (天保14年)		切紙 折封有	1
3	勤合之儀御免許聞届候につき申渡状	卯(天保14年)3月17日	切紙	1
4	御近習被仰付候につき申渡状	午(弘化3年)7月朔日	切続紙	1
5	乾松(本多政通)様御附御役被仰付候につき申渡状 小塚半左衛門↓河地与十郎	午(弘化3年)7月13日	切続紙	1
6	乾松(本多政通)様御附被仰付候につき申渡状 小塚半左衛門↓河地与十郎	午(弘化3年)11月12日	切紙	1
7	勤合之義御免願御聴につき申渡状	未(弘化4年)2月24日	切紙	1
8	御近習御加用役被仰付候につき申渡状	未(弘化4年)12月8日	切紙	1

- 9 御用有之候につき呼出状 (嘉永2年以前) 12月25日 切紙 1
 千秋半丞↓河地与十郎 (端裏書)「河地与十郎殿 千秋半丞」
- 10 加州津幡より武州板橋迄駅々人馬帳 嘉永5年閏2月 河地弥次右衛門 長帳(9丁) 1
 御上京御供にて道中在京中日記 文久3亥年6月 長帳(37丁) 1
- 12 上京につき道中並京中様子等覚書 (慶応3年11月〜12月) 長帳(6丁) 1
 諸事留 慶応3丁卯歳年11月〜同4戊辰歳2月 横帳(17丁) 1
- 13 河地 (端裏書)「徴微徹」
- 14 大宮御所御守衛兵卒半隊司令役任命につき口上書 辰(明治元年)9月29日 ↓篠井 切紙 1
- 15 今晚草津駅御止宿承知につき書状 (明治元年)10月22日 切紙 1
 生駒伝七郎(兵卒隊長)↓河地弥次右衛門(半隊司令役)
- 16 昨日無事京着につき書状 辰(明治元年)10月24日 切続紙 包封有 1
 河地弥次右衛門↓河地弥次右衛門(端裏書)「十月廿四日出」(封上書)「十月廿四日認 河地弥次右衛門」
- 17 大宮御所御守衛九番隊兵卒フランケット拝借願并許可状 辰(明治元年)11月4日 切続紙 1
 河地弥次右衛門、南部平蔵(以上、半隊司令役) ↓篠井源五右衛門、堀清左衛門、留田長左衛門、土方源右衛門、河地弥次右衛門
- 18 兵卒フランケット願一件につき書状 (明治元年)11月15日 切続紙 1
 (奥書)11月20日 河地弥次右衛門↓
 片岡権作、井上久内、黒沢庄九郎、鏑木玄助、萩野善右衛門↓河地弥次右衛門、南部平蔵
 (端裏書)「河地弥次右衛門様等へ 片岡健作等」

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
19	兵卒へケツトウ今便指立につき書状 藤田三右衛門↓河地弥三大夫、南部平蔵	(明治元年) 11月20日	切続紙	1
20	九番隊兵卒フランケツトウ拝借願一件書類下書 河地、南部↓篠井、堀、留田、土方、河地	辰(明治元年) 11月、12月	切続紙	1
21	フランケツト拝借之儀につき礼状下書	辰(明治元年) 12月	切紙	1
22	兵卒へ申渡につき添状 生駒伝七郎(兵卒隊長) ↓河地弥三大夫(半隊司令役)	(明治2年) 正月	切紙	1
23	陪臣等英式稽古方につき書状	(明治元年) 11月4日	切続紙	1
24	英式歩兵稽古方につき書状 林七郎左衛門↓(河地)弥三大夫 (端裏書「済 十一月廿四日出 林」)	(明治元年) 11月24日	切続紙	1
25	英式歩兵稽古方につき中小将以上へ触写 (端裏書「十一月 中小将以上江触写」)	辰(明治元年) 11月	切続紙	1
26	英式歩兵稽古概要筆物写	(明治元年)	切続紙	1
27	前田将監(恒敬)様より仰渡につき添状 大藪清八郎、生駒伝七郎(以上、兵卒隊長) ↓池田準之介、河地弥三大夫、南部平蔵、大脇兵右衛門(以上、半隊司令役)	辰(明治元年) 12月15日	切紙	1
28	士族等に被指加候書面雛形等留	(明治) 庚午3年7月	切続紙	2
29	組替御礼之義につき献上手筈等申付状	未4月朔日	切続紙	1

- 30 御用有之候につき呼出状 3月29日 切紙 包封有 1
 千秋半丞↓河地弥次右衛門殿 (端裏書)「河地弥次右衛門殿 千秋半丞」 (封上書)「河地弥次右衛門殿 千秋半丞」
- 31 御用有之候につき呼出状 3月29日 切紙 1
 千秋半丞↓河地弥三太夫 (端裏書)「河地弥三太夫殿 千秋半丞」
- 32 御用有之候につき呼出状 3月晦日 切紙 1
 井村源太夫↓河地弥三太夫 (端裏書)「河地弥三太夫殿 井村源太夫」
- 33 御用可有御座候につき在宅申付状 4月26日 切紙 1
 大森豊左衛門↓河地弥三太夫 (端裏書)「大森豊左衛門↓河地弥三太夫」
- 34 御渡し品御座候につき呼出状 5月20日 切紙 1
 江守隼太↓河地弥三太夫 (端裏書)「江守隼太↓河地弥三太夫」
- 35 陪臣給祿方につき書状等写 6月24日 切続紙 1
 大参事↓土族長 (奥書) 6月19日 藩庁↓土族長
- 36 御用御座候につき呼出状 7月3日 切紙 1
 吉田新左衛門↓河地弥三太夫 (端裏書)「吉田新左衛門↓河地弥三太夫」
- 37 御用御座候につき呼出状 7月18日 切紙 1
 篠井十蔵↓河地弥三太夫 (端裏書)「篠井十蔵↓河地弥三太夫」
- 38 退出後より御出被仰出候につき呼出状 8月20日 切続紙 1
 井村瀬兵衛↓河地弥三太夫 (端裏書)「井村瀬兵衛↓河地弥三太夫」

III 河地家

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
39	書写御用御座候につき呼出状 大森豊左衛門↓河地弥三大夫 (端裏書)「急御用 河地弥三大夫様 大森豊左衛門」	11月25日	切紙	1
40	私共身分之義につき願書等留 年未詳	年未詳	切紙	2
41	陪臣より士族御召出につき免相之義引直願 年未詳	年未詳	切続紙	2
42	金沢一等副戸長依願免官状 壬申(明治5年)9月8日 第九区河地保定↓石川県庁	9月8日	野紙	1
43	学事世話掛委嘱状 明治19年7月6日 戸長役場(印)↓河地権三郎	7月6日	一紙	1
44	町会議員当選通知書 明治19年12月28日 戸長役場(印)↓河地権三郎	12月28日	一紙(木版)	1
45	金沢区豎町外七十四ヶ町連合町会議員補欠員当選通知書 明治20年1月15日 戸長役場(印)↓河地権三郎	1月15日	一紙	1
46	学事委員辞令書 明治20年9月27日 石川県↓河地権三郎	9月27日	一紙(木版)	1
47	幹事改選当選通知書 明治36年12月13日 葵園会(印)↓河地権三郎	12月13日	野紙	1
48	嘱託募集命令書 明治45年5月1日 福寿生命保険株式会社金沢出張所(印)↓河地権三郎	5月1日	切紙	1
49	包封 堀四郎大夫↓河地弥三大夫、南部平蔵 (封上書)「十二月五日出 京河原町御屋敷ニおいて河地弥三大夫様、南部平蔵様 堀四郎大夫」	12月5日	包封	1

50 包封

年未詳

包封

1

フ崎知太夫↓河地弥三大夫 (封上書)「河地弥三大夫様 フ崎知太夫」

33 知行

1 知行宛行状(長井郡中小松之内200石) 慶長10年8月18日

大和守(本多政重)〔花押〕↓河地半左衛門

折紙

1

2 知行目録(父知行150石)

享保3年2月15日

↓河地伴九郎

切紙

折封有

1

3 知行目録(養父遺知150石)

享保12丁未10月26日

↓河地内右衛門 (封上書)「河地内右衛門」

切紙

折封有

1

4 扶持目録(3人扶持)

宝暦元辛未12月11日

↓河地紋丞 (封上書)「河地紋丞」

切紙

折封有

1

5 拝領目録(銀3枚)

宝暦2申12月16日

↓河地紋丞 (封上書)「河地紋丞」

切紙

折封有

1

6 知行目録等書簡

①安永2癸巳12月晦日

②年未詳

①②切紙折封有

2

①↓河地团右衛門 ②↓河地与十郎 (封上書)「河地团右衛門」

7 知行目録(養父遺知150石) ②中小将組申付状(年中銀7枚)

天明8戊辰2月21日

切紙

折封有

1

↓河地弥三大夫 (封上書)「河地弥三大夫」

8 役料銀目録等書簡

①文化7庚午12月24日 ②午12月24日

①②切紙

2

①②↓河地弥太郎

①役料銀目録(銀7枚) ②中小将組御加用役申付状

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
9	知行目録等書簡 ①②↓河地小三郎 (封上書)「河地小三郎」	①文化13丙子11月24日 ②(文化13年)	①②切紙折封有	2
10	①知行目録(養父遺知150石) ②大組申付状 拝領目録(銀7枚)	天保13壬寅12月26日 ↓河地与十郎 (封上書)「河地与十郎」	切紙 折封有	1
11	知行目録等書簡	①弘化4丁未12月13日 ②(弘化4年) ③5月11日〜19日 ④5月21日〜26日 ⑤5月28日〜6月2日	①②切紙③④⑤折紙 折封有	5
12	知行目録(加増30石) ①知行目録(加増20石) ②懈怠なく相勤につき御加増申渡状(加増20石) ③④⑤能舞台演目	嘉永4辛亥2月29日 ↓河地弥次右衛門	切紙	1
13	役料銀目録(加増銀2枚) ↓河地弥三大夫 (封上書)「河地弥三大夫」	安政6己未4月朔日	切紙 折封有	1
14	役料銀目録等書簡 ①②↓河地弥三大夫 (封上書)「河地弥三大夫」	①慶応元乙丑12月11日 ②年未詳	切紙 折封有	2
15	知行目録(父知行200石) ↓河地弥三大夫 (封上書)「河地弥三大夫」	明治2己巳11月22日	切紙 折封有	1

- 16 懈怠なく相勤につき御加増申渡状(加増30石) 年未詳
 ↓河地弥次右衛門(封上書)「河地弥三大夫」
- 17 篠井源五右衛門組才許につき御加増申付状(加増銀1枚) 年未詳
 ↓河地弥三大夫
- 34 遺書
- 1 河地弥次右衛門遺書 嘉永(朱書)「文久3年6月」
 河地弥右衛門↓千秋半丞、井村源太夫、篠井源五右衛門、河崎市丞(朱書)「堀、千秋、富田」
- 2 河地弥三太夫遺書 安政6年未9月15日(朱書)「文久3年亥5月」
 河地弥三太夫↓井村源太夫、篠井源五右衛門、河崎市丞、堀清左衛門、千秋半丞、(朱書)富田長左衛門
- 3 河地弥三太夫遺書 文久3年亥6月2日
 河地弥三太夫↓篠井源五右衛門、河崎市丞、堀清左衛門、千秋半丞、土方源右衛門
- 4 河地弥三太夫遺書 ①元治元年子7月 ②元治元年7月
 ①河地弥三太夫↓篠井源五右衛門、堀清左衛門、千秋半丞、富田長左衛門、土方源右衛門
 ②河地弥三太夫↓(朱書)「篠井、堀、千秋、富田、土方」
- 5 河地弥次右衛門遺書 ①慶応3年9月 ②年未詳
 ①河地弥次右衛門↓篠井源五右衛門、堀清左衛門、富田長左衛門、土方源右衛門 ②河地弥次右衛門
- 6 河地弥次右衛門遺書 明治3年7月 河地弥次右衛門
- 7 河地弥次右衛門遺書 年未詳
- 8 河地弥次右衛門遺書(後欠) 年未詳

切紙 折封有

切続紙

切続紙

切紙

切紙

①②切紙

①②切続紙

切続紙

切続紙

切紙

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
35 家 計				
1	支払覚	明治3年～8年	横帳(35丁)	1
2	出納帳	明治4年	長帳(10丁)	1
3	金拝借証書	明治7年11月	一紙	1
			河地保定(印)↓林安敬	
4	拝借金返上通	明治7年戊11月借	長帳(3丁)	1
			河地保定	
5	資金代借願(前欠)	明治8年3月	一紙	1
			金沢製糸社副社長津田近三、小川忠富↓本多(政以)	
6	支払覚	明治8年	長帳(5丁)	1
7	収支帳	明治8年～13年	長帳(47丁)	1
8	貸付金返納覚	(明治)12年	横帳(2丁)	1
9	酒代等覚	明治13年4月	切続紙	1
10	金額借用証	明治14年7月1日	罫紙	1
			七尾分病院新築御用係惣代島田辛一郎(印)、同新築負担者惣代鈴木辰次(印)、同新築医員惣代安田元吉(印) ↓河地権三郎	
11	借入金返済期限延期願	明治14年9月18日	罫紙	1
			七尾分病院新築御用係惣代島田辛一郎(印)、忌引中真館与四郎↓河地権三郎	

- 12 金借用証書并買請証 明治15年7月5日 野紙綴(2丁) 1
- 13 金額借用証 明治15年11月 野紙綴(2丁) 1
- 14 金借用証書 明治16年2月23日 野紙綴(仮綴2丁) 1
- 15 秋山破戒記事 明治18年霜秋始之 山野跋涉遊人 野紙綴(9丁)、付紙有 1
- 16 藥代受領証 明治20年10月11日 至親堂(印) ↓河地吉五郎 用紙 1
- 17 弁当代金領收書 明治20年10月14日 杏雲堂医院賄方(印) ↓河地 用紙 1
- 18 入院料等領收書 明治20年10月15日 杏雲医院(印) ↓河地吉午郎 用紙 1
- 19 諸品代金領收書 明治20年10月24日 杏雲医院(印) ↓河地 用紙 1
- 20 弁当代金領收書 明治20年10月24日 杏雲堂医院賄方(印) ↓河地 用紙 1
- 21 入院料等領收書 明治20年10月24日 杏雲医院(印) ↓河地吉午郎 用紙 1
- 22 河地吉五郎処方箋 明治20年10月24日 杏雲堂医院(印) ↓河地吉五郎 一紙 1
- 23 河地吉午郎診断書 明治20年10月25日 宮嶋義信 ↓河地吉午郎 野紙 1
- 24 東行出費記 丁亥(明治20年)10月 切続紙 1
- 25 公租等諸税上納帳 明治21年1月改 河地権三郎 横帳(3丁) 1
- 26 金預り証書 明治21年4月4日 峰直壯(印) ↓河地権三郎 野紙 1
- 27 金借用証書 明治24年8月14日 大河原定文(印) ↓河地権三郎 切紙 1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
28	金借用証書	明治24年12月5日	切紙	1
29	十二月分支払覚	(明治) 27年12月	袋綴(3丁)	1
30	火鉢・小炭代等覚	明治37年8月14日	折紙	1
31	醤油御通帳	明治39年1月吉日	横帳(4丁)	1
32	外国米代金受取証	明治40年7月5日	用紙	1
33	貸金利息受取証	明治41年6月2日	野紙	1
34	平城漫々録(奈良出張収支覚等)	明治43年10月下旬	長帳(4丁)	1
35	送金につき電報	(明治) 10月12日	用紙 封筒有	1
36	送金につき電報	(明治) 10月28日	用紙 封筒有	1
37	出納帳	(明治)	長帳(12丁)	1
38	新伝製糸場創立につき資金借入願(後欠)	(明治)	一紙	1
39	養老保険極度額改定通知書	大正元年9月24日	用紙	1
40	納税証明願	大正4年	一紙	1
41	金借用証書	大正6年7月10日	野紙	1
42	金借用証書	大正6年8月9日	野紙	1

43	日本勸業銀行発行債券預証	大正6年11月9日		罫紙	1
	河地権三郎(印) ↓ 日本勸業台資会社				
44	金借用証書	大正6年12月31日	河地権三郎(印) ↓ 大沢俊蔵	罫紙	1
45	印鑑証明手数料領収証	(大正7年)	金沢市金庫(印) ↓ 河地権三郎	用紙	1
46	住所寄留届雛形	(大正) 1月14日	清水慥 ↓ 市長	罫紙	1
47	筆足袋代等請取書(断簡)	亥5月10日	小川与兵衛(印) ↓	切続紙	1
48	小道具代等受取覚	亥5月10日	末友久兵衛 ↓ 河地	こより綴(2丁)	1
49	单足袋代等請取書	亥12月5日	小川与兵衛(内) 竹の友七 ↓ 河地	切紙	1
50	代金割覚	4月	青山	切紙	1
51	茶碗代等書上	4月	山田や ↓ 河地	切紙	1
52	下宿料受取書	10月9日	磯野むら ↓ 河地	切紙	1
53	本郷大学校使代等請取書	10月10日	小林岩吉 ↓ 河地	切紙	1
54	野々市より京都迄賃錢請取覚	10月26日	山川藤五郎 ↓ 青池	切続紙	1
55	吉五郎病気につき入院代等覚	10月		折紙	1
56	こんにやく代等受取書	10月	磯野(印)	切紙	1
57	諸事覚帳	10月 ~ 12月		長帳(4丁)	1
58	代金覚	11月16日	栃木筆 ↓ 上	切紙	1
59	赤金上なべ代等覚	11月28日		切紙	1
	印「京都建仁寺町五条上ル京都銅打物師中屋源助」 ↓ 河地				

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
60	収支書上	年未詳	折紙	1
61	出納帳	年未詳	長帳(15丁)	1
62	布代書上	年未詳	用紙	1
63	公債証書送付につき領収証提出通知	年未詳	罫紙	1
64	願届文例綴	年未詳	罫紙綴(146丁)	1
65	小国屋支払代金等書上	年未詳	切紙	1
66	燈竜天蓋代等書上	年未詳	折紙	1
67	蓮根代等覚	年未詳	切紙	1
68	素麴代等書上	年未詳	折紙	1
69	煙草代等書上	年未詳	折紙	1
70	椎茸代等書上	年未詳	折紙	1
71	膳部等書上	年未詳	こより綴(5丁)	1
72	焼饅頭数書上	年未詳	折紙	1
73	大中折等数量書上(前欠)	年未詳	切紙	1
74	箆筥等道具書上	年未詳	切紙	1
75	道具覚	年未詳	切続紙	1

日末鯨社中↓金沢
出納課
なべや呉服店↓河瀬

島田文次郎

石川大林「」会計課↓河地権三郎(林野整理局石川支局用紙)

76	学費等支出書上	年未詳	折紙	1
77	病院分等出納書上	年未詳	長帳(6丁)	1
78	金代糞足につき入費書上	年未詳	切紙	1
79	道中入用并装束等調理帳	年未詳	横帳(6丁)	1
80	日数分金額書上	年未詳	折紙	1

36 土地・建物

1	地券	明治6年12月	用紙	1
2	地租上納関係書類	①明治6年 ②年未詳	①袋綴(3丁) ②一紙	2
3	地券	明治12年6月	用紙	1
4	地所建物売渡証文	明治15年10月11日	一紙	1
5	建物売買書	明治15年10月11日	一紙	1

III 河地家

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
6	質入建物図面 建物持主島田辛一郎(二印) ↓ 河地権三郎	明治16年2月23日(明治17年5月31日消印)	一紙	1
7	地所建物売渡証 (売渡人) 生沼曹六、質人生沼曹貫 ↓ (買請人) 岡部昌信	明治25年5月2日	野紙	1
8	宅地坪数書上并図面 (所有者) 大河原定方、後見人本多文、親戚林安敬(二印) 後消、親戚后見人代人河地権三郎(二印) 後消	明治26年12月26日	一紙	1
9	宅地登記書	明治29年4月8日	一紙	1
10	宅地坪数書上并図面	明治29年12月11日	一紙	1
11	建物種類及坪数届	明治30年1月	用紙	1
12	建物種類及坪数届	明治30年1月	用紙	1
13	土地建物所有権保存につき登記申請書	明治32年7月6日	袋綴(3丁)	1
14	宅地建物売渡約定	明治32年7月27日	野紙	1
15	登記保証書 保証人桜井学(二印)、保証人岡部昌行(二印) ↓ 金沢区裁判所	明治32年8月11日	一紙	1
16	土地建物売渡証	明治32年8月	野紙	1
17	登記申請書	明治33年1月27日	一紙	1
18	名義人表示変更につき登記申請書	明治33年1月27日	一紙	1

19	宅地建物抵当につき金借用証書	明治33年6月16日		袋綴(4丁)	1
	債務者河地権三郎(印) ↓大屋秀政				
20	宅地登記書	明治34年8月12日		一紙	1
21	登記貸付金および利子受取証	明治37年9月30日		罫紙	1
	抵当権者大屋秀政(印) ↓河地権三郎				
22	登記貸付金および利子受取証	明治37年9月30日		罫紙	1
	抵当権者大屋秀政(印) ↓河地権三郎				
23	宅地建物抵当解除証	明治37年9月30日	大屋秀政(印) ↓河地権三郎	罫紙	1
24	登記貸付金および利子受取証	明治37年9月30日		罫紙	1
	抵当権者大屋秀政(印) ↓河地権三郎				
25	家屋税の件にて坪数取調の節届出図面	明治某年		罫紙	1
26	建物賃貸借契約証書雛形	年未詳	印(河地)	用紙	1
27	建物賃貸借契約証書雛形	年未詳		用紙	1
28	土地建物売渡証雛形	年未詳	↓中村蔵太	罫紙	1
29	建物種類及坪数届	年未詳	岩内義平 ↓石川県知事古沢滋	罫紙	1
30	御所有地桑田据置願	年未詳	岩内義平他3名	罫紙	1
31	備忘笥(登記関係等)	年未詳	漁塊生	罫紙綴(31丁)	1
32	家坪数図面	年未詳		一枚 20×30cm	1
33	下主馬町家屋図(河地家)	年未詳		一枚 23×32cm	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
34	下主馬町宅地図面	年未詳	一枚 28×40 cm	1
35	家屋図面	年未詳	一枚 20×30 cm	1
36	宅地図面并其他書上	年未詳	一紙	1
37	宅地図面	年未詳	切紙	1
38	建物回面雛形	年未詳	一紙	1
37 交 際				
1	珍物頂戴につき礼状 本多素立軒(政長)↓(端裏書)「従本多素立軒」	年未詳	切続紙	1
2	御自分様額に角入後呼出状 河地弥次右衛門↓河地与十郎 (端裏書)「河地与十郎様 河地弥次右衛門」	(弘化3年) 6月29日	切紙	1
3	御自分前髪執候後呼出状 河地弥次右衛門↓河地与十郎 (端裏書)「河地与十郎様 河地弥次右衛門」	(弘化4年) 11月15日	切続紙	1
4	発瘡等につき見舞状 河波多仲↓(河地)与十郎 (端裏書)「貴翰 与十郎様 河波多仲」	2月7日	切続紙	1
5	親父様より御壺封御届につき書状 矢知大夫↓(河地)弥三太夫 (端裏書)「弥三太夫様 矢知大夫」	11月4日	切続紙	1

6	千いわし進上等につき書状	11月25日		切続紙	1
	大河原三四郎↓河地弥三太夫 (端裏書「濟 十一月廿四日出 大河原」)				
7	為御祝詞御出帳	明治8年6月		長帳(4丁)	1
8	嶋崎・青木二君上阪につき金代惜別持論	明治13年3月4日		野紙綴(3丁)	1
	河地金代、九拜↓嶋崎文三郎、青木勇三郎				
9	翠園宛書簡	明治13年12月下旬	松塙、若駒、嘯月↓翠園	野紙綴(2丁)	1
10	婚礼一件留	明治22年9月吉日		長帳(3丁)	1
11	為祝義御出帳	明治22年9月吉日		長帳(6丁)	1
12	年賀人名書上	明治23年		長帳(2丁)	1
13	男児誕生につき賀辞	明治乙未(28年)3月7日		一紙 封筒有	1
	起雲林安繁↓河地大人 (封上書)「賀辞」				
14	山口県訪問につき書簡(後欠)	明治35年7月		切続紙	1
15	近況報告などにつき書簡(断簡)	4月19日	石坂愛↓河地権三郎	袋綴(仮綴3丁)	1
16	河地保定気滞につき見舞状	5月2日	土方当達↓河地保定	切紙	1
17	見舞品拝領につき礼状	5月2日	↓土方当達	切続紙	1
18	勸友人保健康文(断簡)	5月8日	山田豊作↓権三郎	野紙綴(仮綴3丁)	1
19	あかんぼの事等お尋につき書簡	5月29日	石坂母↓菊枝	一紙	1
20	御見舞状へ礼状	7月1日	石坂母↓菊枝	一紙	1
21	家督相続之段慶賀につき書簡	7月2日	大河原定文↓河地権三郎	切紙	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
22	御見舞品等蒙御意候につき礼状	7月4日	切続紙	1
23	東京滞在一件につき書簡 ①母↓菊江 ②石坂愛↓河地権三郎	7月8日	切続紙封筒有	2
24	道中無事到着につき礼状 ①東京滞在之件等につき書簡 ②東京へ無事到着につき礼状 高崎千年↓河地権三郎 (端裏書)「河地」	8月11日	切続紙	1
25	上京道中の大略につき書簡	9月6日	罫紙	1
26	惜別友人序	11月22日	切紙	1
27	大坂御出の件等につき書簡	11月	切紙	1
28	病氣見舞状(断簡)	12月8日	こより綴(仮綴3丁)	1
29	婦京催促につき書簡	年未詳	一紙	1
30	御氣滞御容子見舞状	年未詳	切紙	1
31	送別来客人名記	年未詳	切紙	1
32	銭別馳走人等書上	年未詳	切紙	1
33	祝詞	年未詳	続紙 折封有	1
34	東京周辺順覧日記	年未詳	折紙	1
35	御見舞品拝領につき礼状(後欠)	年未詳	切続紙	1

36	皆息才等近況報告につき書簡(断簡)	年未詳		切続紙	1
37	河地菊枝宛封筒	2月15日	石坂愛↓河地菊枝	封筒	1
38 葬 儀					
1	野田山墓地券	明治8年2月	墓地取扱所(印)↓河地保定	用紙	1
2	御悔帳	明治8年5月		長帳(9丁)	1
3	法鏡院殿新喪ノ節諸事雜記	明治44年11月1日	河地	長帳(4丁)	1
4	河地保定死去につき悔状	5月5日	土方当達↓河地権三郎	切紙	1
5	河地保定病死につき御香奠贈状	5月6日	土方当達↓河地権三郎	切続紙	1
6	父保定病死にて御香奠拝領につき礼状	5月6日	河地権三郎↓土方当達	切紙	1
7	亡父保定中陰にて内仏茶湯招待状	5月8日		切続紙	1
河地権三郎↓富田、鰐部、進藤、青山、戸水、大河原、浅加、河波、寺垣、平野、牧、中山					
8	河地保定死去につき御悔之段礼状	5月15日	河地権三郎↓土方(当達)	切紙	1
9	中陰茶湯執行にて御茶菓子御惠贈につき礼状	5月21日	島田要↓河地権三郎	切続紙	1
10	御棺代等受取書	11月10日	千田大吉郎↓川瀬	切紙	1
11	内仏来経料等覚	11月29日		切紙	1
12	忌明挨拶人名書	年未詳		折紙	1
13	三十五日・四十九日・百ヶ日内仏茶湯人帳	年未詳		折紙	1
14	会葬人名書	年未詳		折紙	1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
15	内仏中院招客書上	年未詳	折紙	1
16	棺引合之事等覚	年未詳	折紙	1
17	初七日等書上	年未詳	折紙	1
18	名書	年未詳	折紙	1
19	葬式行列順序	年未詳	折紙	1
20	靈供一膳等書上	年未詳	折紙	1
21	靈供一膳等書上	年未詳	折紙	1
22	靈供三膳等書上	年未詳	折紙	1
23	金代病死之節焼香順次書上	年未詳	折紙	1
24	吉午郎病死之節焼香順次書上	年未詳	折紙	1
25	葬式入用書上	年未詳	長帳(1丁)	1
26	御參詣記帳	年未詳	長帳(2丁)	1
27	亡父保定病死につき御悔并御備物書上	年未詳	長帳(4丁)	1
28	焼香次第	年未詳	こより綴(5丁)	1
29	葬式諸入用等書上	年未詳	こより綴(8丁)	1
30	棺布代等書上	年未詳	切紙	1
31	中陰茶湯料等書上	年未詳	切続紙	1

32 父祖以来吉凶留帳封 年未詳 袋封 1

33 包封 年未詳 1

39 学 業

1 下等小学第七級卒業假証書 明治6年11月15日 本多町小学校(印) ↓河地金代 切紙(木版) 1

2 下等小学第五級卒業假証書 明治6年11月25日 仙石町小学(印) ↓河地權三郎 切紙(木版) 1

3 下等小学第四級卒業假証書 明治7年7月18日 本多町小学(印) ↓河地金代 切紙(木版) 1

4 下等小学第三級卒業假証書 明治7年7月18日 仙石町小学(印) ↓河地權三郎 切紙(木版) 1

5 監生申付状 明治8年6月28日 本多町小学校 ↓河地金代 切紙 1

6 上等小学第八級卒業証書 明治8年9月4日 育英小学校(印) ↓河地金代 切紙 1

7 上等小学第七級卒業証書 明治8年10月27日 育英小学校(印) ↓河地金代 切紙 1

8 上等小学第六級卒業証書 明治8年12月8日 育英小学校(印) ↓河地金代 切紙(木版) 1

9 下等小学第七級卒業証書 明治8年12月 本多町小学校(印) ↓河地吉五郎 切紙(木版) 1

10 上等小学第五級卒業証書 明治9年6月10日 育英小学校(印) ↓河地金代 切紙(木版) 1

11 下等小学第六級卒業証書 明治9年6月 本多町小学校(印) ↓河地吉午郎 切紙(木版) 1

12 下等小学第五級卒業証書 明治10年2月17日 本多町小学校(印) ↓河地吉午郎 切紙(木版) 1

13 下等小学第四級卒業証書 明治10年6月17日 本多町小学校(印) ↓河地吉午郎 切紙(木版) 1

14 下等小学第三級卒業証書 明治10年12月13日 本多町小学校(印) ↓河地吉午郎 切紙(木版) 1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
15	乙部下等第二級卒業証 石川県中学師範学校(印) ↓ 河地権三郎	明治11年3月1日	切紙(木版)	1
16	下等小学第二級卒業証書	明治11年7月25日	切紙(木版)	1
17	下等小学第一級卒業証書	明治12年3月15日	切紙(木版)	1
18	中学師範学科下等第四級卒業証 石川県中学師範学校(印) ↓ 河地権三郎	明治12年9月	切紙	1
19	上等小学第八級卒業証書	明治13年7月22日	切紙(木版)	1
20	上等小学第七級卒業証書	明治13年12月17日	切紙(木版)	1
21	監生依囑状	明治14年4月11日	切紙	1
22	初等中学第一年前期卒業証書	明治15年3月2日	切紙	1
23	作文階梯一部四等奨励品付与状	明治15年4月13日	切紙(木版)	1
24	初等中学第一年後期卒業証書	明治15年7月29日	用紙	1
25	初等中学第二年前期卒業証書	明治16年2月26日	用紙	1
26	学業優等につき奨励品付与状	明治16年7月7日	切紙(木版)	1
27	初等中学第二年後期卒業証書	明治16年7月31日	用紙	1
28	金沢藩小学規則	庚午(明治3年)11月	袋綴(木版9丁)	1
29	明治協庠規約	明治4辛未年9月	袋綴(木版7丁)	1

- 30 明治義塾学制規則 明治5壬申歲2月 明治義塾
袋綴(木版7丁) 1
- 31 算術仕方 明治8年写之 河地所持
横帳(13丁) 1
- 32 作文帳 明治10年11月6日 南山
横帳(10丁) 1
- 33 文章軌範序(断簡) 明治11年4月4日序 中村正直、松本万年
切紙 1
- 34 法学生徒試験点数表 明治15年7月
一紙(印刷)封筒有 1
- 35 東京府司法省十七年度募集試験問題 (明治17年度) 印(河地)
切紙(印刷) 1
- 36 受験必用地理問答一千題 明治25年7月1日第三版
書冊(印刷312頁) 1
- 37 尋常小学校新撰算術 上 明治33年11月18日
書冊(印刷109頁) 1
- 38 中等文法教科書 明治40年12月25日訂正再版
書冊(印刷) 5
- 山田孝雄著、大葉久吉・吉岡平助発行、青木弘印刷、東京・大阪宝文館蔵版
- 39 中等教育国語沿革大要 明治41年1月31日訂正再版
書冊(印刷76頁) 1
- ①卷一 ②卷二 ③卷三 ④卷四 ⑤卷五
- 40 弘道館記述義 年未詳 藤田彪謹述
袋綴(67丁) 1
- 41 明倫堂盛集 年未詳 豊島毅序
袋綴(14丁) 1
- 42 入校証書 年未詳
一紙 1

番号 標 題

年月日

型態

点数

IV 学芸

41 歴史

1	本佐録	天明7年11月謹校	越中山本中郎謹校	袋綴(57丁)	1
2	本佐録序(断簡)	年未詳		こより綴(仮綴3丁)	1
3	尊攘紀事 卷之三ゝ卷之四	年未詳	岡千仞著	中本(木版40丁)	1
4	訂正尊攘紀事補遺 卷之一・卷之二	明治17年5月緒言	岡千仞著、東京鳳文館(印)	中本(木版50丁)	1
5	新政談 卷三ゝ卷五	卯12月	藤森茶助神大雅誌	袋綴(105丁)	1
6	武家官職略	年未詳	洛陽伊藤氏蔵版	折本(木版)	1
7	日本外史字類 下之上	年未詳	榎木寛則編輯	横帳(木版98丁)	1
8	日本外史 卷之十五ゝ卷之十八	年未詳		小本(木版134丁)	1
9	日本政記	年未詳		罫紙綴(13丁)	1
10	菅公御作神皇正統記在頭書	年未詳		切紙	1
11	清和源氏等歴代書上	年未詳		長帳(2丁)	1
12	外史豊臣氏 上ノ卷	年未詳		切紙(印刷)	1
13	八條家来由	年未詳		袋綴(7丁)	1
14	大内内蔵助手筆祭文写	年未詳		続紙	1

42 兵法・武芸

- | | | | | |
|----|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------|---|
| 1 | 枢密要論 | 元禄壬申(5年)季春
(有沢)永貞先生 | 袋綴 | 2 |
| 2 | 軍役古今通解 | ①②③④⑤⑥享保2丁酉年仲秋28日
⑦享保6辛丑年11月22日 | 袋綴 | 7 |
| | 有沢武貞撰 | | | |
| 3 | 図解武用弁略 卷之八 | ①壹 ②貳 ③式 ④四 ⑤五 ⑥六 ⑦追加
延享5戊辰年初春 | 中本(木版59丁) | 1 |
| | 木下義俊編、負喧子校正、大坂書肆
糸屋市兵衛求版 | | | |
| 4 | 陰符抄 初編自一至八卷ノ半 | 天保3年2月吉日 | 袋綴(125丁) | 1 |
| 5 | 大嶋古流曲尺合等口授秘伝目録 | 安政2乙卯年11月吉日 | 切続紙 折封有 | 1 |
| | 舟喜源七郎為住↓河地弥三大夫
(封上書)「許書 河地」 | | | |
| 6 | 大将三采幣秘伝目録 | 万延2年正月吉日 | 折紙 折封有 | 1 |
| | 小竹岩尾直正↓河地弥次右衛門
(封上書)「采幣伝」 | | | |
| 7 | 城取秘伝図 | 文久2壬戌年写 | 一枚 | 1 |
| 8 | 馬術十二方条 ①前書 ②奥の巻 | 文久4年正月 | ①中本(22丁)
②中本(13丁)付紙有 | 2 |
| | | 小池伴太夫良翰↓河地弥三大夫 | | |
| 9 | 調練之次第 | 文久4子年 | 袋綴(13丁)付紙有 | 1 |
| 10 | 弓術伝授につき手前之書 | 明治23年1月吉日 | 切紙 折封有 | 1 |
| | 吉田光政↓河地権三郎
(封上書)「河地権三郎手前之書」 | | | |

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
11	弓術重ミ書免許状	亥8月吉日	切紙	1
12	兵学免許状封	年未詳	折封	1
	福田縫右衛門↓(封上書)「兵学免許状 福田縫右衛門」			
13	甲陽軍艦末書 下卷下	年未詳	袋綴(166丁)	1
14	甲陽軍艦末書 下卷下二、下三、下五(断簡) 年未詳		こより綴(仮綴12丁)	1
15	軍法極秘伝書拔書	年未詳	袋綴(45丁)	1
16	古法軍記大概 ①上 ②下	年未詳	①袋綴(70丁) ②袋綴(77丁)	2
17	調練之作法	年未詳	袋綴(16丁)	1
18	調練問答	年未詳	袋綴(17丁)	1
19	小迫合大合戦様子并勝軍負軍ノ事等書上 年未詳		袋綴(17丁)	1
20	馬具銘所秘書	年未詳	袋綴(10丁)	1
21	十二方条作法口伝	年未詳	こより綴(8丁)	1
22	遠馬心得卷	年未詳	こより綴(11丁)	1
23	極秘伝卷	年未詳	こより綴(2丁)	1
24	鈴録	年未詳	長帳(3丁)	1
25	景山烈公(徳川斉昭)所賜刀銘書付	年未詳	切紙	1

吉田才一郎↓河地弥三大夫

26	孫贖魏將ト兵学ヲ学之義等書上	年未詳	切続紙	1
27	三国相伝	年未詳	折紙	1
28	舟戦之法(前欠)	年未詳	一紙	1
29	軍法書上(断簡)	年未詳	袋綴(仮綴2丁)	1
30	陳取八様の事等書上(断簡)	年未詳	袋綴(仮綴4丁)	1
31	甲子循環六十之図	年未詳	一枚(木版)50×35cm 付紙有	1
32	備立図	年未詳	一枚(朱入)35×24cm	1
33	備立図	年未詳	一枚 69×103cm	1
34	陣立図	年未詳	一枚 62×28cm	1
35	縄張図(断簡)	年未詳	袋綴(仮綴14丁)	1
36	懐刀	年未詳	刀	1
37	信了院殿御旗并保弘旗	年未詳	旗箱有	3
38	弥三大夫兜内御納御守	年未詳	御守 折封有	1
	(封上書)「弥三大夫様御かふとの内御納御守」			
39	弥次右衛門兜内御納御守	年未詳	御守 折封有	1
	(封上書)「弥次右衛門様御かふとの内御納御守」			
40	真綿料書上折封	年未詳	折封	1
	(封上書)「真綿料金貳百足」			

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
43 文 芸				
1	新板百人一首鈔 上・中・下	万治4辛丑卯月吉日	ふ屋六兵衛開板 中本(木版26丁)	1
2	瀛奎律髓 下	文化5辰秋8月	横帳(木版105丁)	1
東都書肆須原屋茂兵衛・同伊八・同孫七・和泉屋庄治郎・岡田屋嘉七・角丸屋甚助、浪華書肆泉本八兵衛、尾州書肆風月孫助・植村藤右衛門、京都書肆朝倉儀助				
3	韻府一遇 上平・下平	文化甲戌(11年) 飜刻	小本(木版231丁)	1
吳趨顏麓莊・朱翠峯・華安愚同輯、養賢堂藏板				
4	韻府一遇 平聲	文政10年歲次丁亥春正月序	小本(木版242丁)	1
吳趨顏懋功麓莊輯、乾齋中井先生重校、浪速書林群玉堂、東都書林青雲堂梓				
5	山陽遺稿(内題、山陽文詩遺稿) 文	天保辛丑(12年)	中本(木版57丁)	1
天保13年壬寅3月再刻 頼山陽著、篠崎弼序、書林五玉堂藏				
6	統統詩学連錦	天保13年壬寅3月再刻	横帳(木版72丁)	1
浪速鎌田環齋輯著、東都書肆須原屋茂兵衛、岡田屋嘉七、山城屋佐兵衛、浪華書肆敦賀屋九兵衛、秋田屋太右衛門、河内屋喜兵衛				
7	学草笈	嘉永壬子(5年) 春	こより綴(15丁)	1
北海陳人				
8	亦奇録	慶応丁卯(3年) 季春序	小本(木版123丁)	1
小原鉄心(寛栗)、野村煥(藤陰)、菱田禎(海鷗)、菅喬(竹洲)				
9	振気篇 上	慶応戊辰(4年) 夏5月	袋綴(15丁)	1
春莊穴史郎				
10	大統歌	明治辛未(4年) 仲春	中本(木版28丁)	1
塩谷世弘著、山県藩井上俊又書				

- 11 新聞雜誌 第42号・第45号附録・第46号・第47号・第48号 明治壬申(5年)5月・6月 合綴(木版) 1
 本局 東京日新堂、売弘所 東京和泉屋金石工門・須原屋茂兵衛・和泉屋市兵衛、大坂河内屋喜兵衛・河内屋吉兵衛・
 河内屋清七、京都村上勘兵衛・和泉屋壯造
- 12 遊於末森記 明治壬申(5)年初夏旬六 火懼堂 袋綴(4丁) 1
 諸本借貸帖 明治6年6月16日 二天 横帳(4丁) 1
- 13 金子清三郎著作文階梯 下 明治7年7月 中本(木版46丁) 1
- 14 金子清三郎著、版主石川県学校用出版会社、発行書肆 金沢中村喜平・近田太平・野島信吉 横帳(11丁) 1
- 15 窮理研磨書 明治8年12月 河地権三郎 横帳(13丁) 1
- 16 暗夜望明光記 明治9年3月改之 河地所持 書冊(印刷82丁) 1
- 17 明清名家奇文粹編 卷上 明治11年10月12日板権免許 野紙綴(26丁) 1
 土岐政孝編輯兼出版、報告社発兌
- 18 諸家文集鈔 明治12年8月写 一峰散人写 袋綴(3丁) 1
- 19 金代東遊略記 明治13年4月 中本(木版) 2
- 20 明治名家詩選 ①上 ②下 明治13年12月23日 書冊(印刷64頁) 1
 村上仏山校閱、城井国綱(錦原)修纂、清樾書屋蔵版、内外兵事新聞局ほか発兌 (端書)「明治20年5月買上」
- 21 通俗飲酒効害論(一名、酒客寿命の手綱) 明治18年7月7日 書冊(印刷64頁) 1
 海軍軍医少監矢野義徹閱、海軍軍医補富松郁三郎著者兼出版人、島村利助・丸屋善七発兌売捌
- 22 匪石存稿 明治丙戌(19年)3月自序 河地匪石 袋綴(15丁) 1
- 23 習字捷徑十五法(断簡) 明治19年乙酉春 櫻園陳人書 続紙(木版) 1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
24	新日本 ①初卷 ②二卷 尾崎行雄著者兼出版人、集成社書店・博文堂書舗・丸善書店・叢書閣・沢屋蘇吉・三木佐助・梅原亀七発兌	①明治20年2月再版 ②明治20年3月出版	書冊(印刷)	2
25	方丈記講義 鴨長明著、今泉定介講述、誠之堂書店発兌	明治35年9月10日第9版	書冊(印刷109頁)	1
26	東関紀行詳解 鳥野幸次著、明治書院発兌	明治36年12月5日再版	書冊(印刷161頁)	1
27	土佐日記講義 紀貫之著、今泉定介講述、誠之堂書店発兌	明治38年10月1日第16版	書冊(印刷128頁)	1
28	国歌読本 服部躬治著、東京・大阪宝文館蔵版	明治39年3月21日	書冊(印刷76頁)	1
29	女子国文典 ①上巻 ②中巻 三上忠造著、明治図書発行	明治39年11月29日	書冊(印刷)	2
30	河地格之助元旦試筆 河地格之助	元旦	半折	1
31	紙鳶説 河地権三郎	2月15日	野紙	1
32	友人某氏某亭記 河地権三郎(印)	5月11日	一紙	1
33	詩語対句自在 卷之二 平安藤(内山)良国輯	年未詳	横帳(木版49丁)	1
34	千慮策 卷之中 楊万里延秀	年未詳	中本(木版36丁)	1
35	永字八法 河波有道	年未詳	一枚(木版)	1
36	論説録 南山	年未詳	横帳(6丁)	1

37	木水遺稿 ①頼房公等書上 ②附録	年未詳	宮田蔵(印)	中本	2
38	告同寮諸子	年未詳	相馬藩藤田龍次郎	一紙	1
39	文章摘存 第二号	年未詳	金沢師範学校学生	書冊(印刷16頁)	1
40	訓戒之語	年未詳	河地主	横帳	2
41	論策記	年未詳	河地	小本(15丁)	1
42	万代用文童子往来	年未詳	河地氏	小本(木版146丁)	1
43	伏乞(断簡)	年未詳	田辺友三郎	野紙	1
44	介士推論(断簡)	年未詳	永山春園	野紙	1
45	太平樂府	年未詳		袋綴(21丁)	1
46	草書要領	年未詳		袋綴(65丁)	1
47	韃囊余光拔萃(自永延元年至治承元年)	年未詳		袋綴(15丁)	1
48	精選唐宋千家連珠詩格 卷之上	年未詳		横帳(木版70丁)	1
49	中国古人名言書付	年未詳		横帳(5丁)	1
50	載文進筆画贊	年未詳		切紙	1
51	素読習字願札	年未詳		切紙	1
52	議論卜八書留	年未詳		切紙	1
53	孟子弁書	年未詳		切続紙	1
54	藤原惺窩等儒者書上	年未詳		長帳(3丁)	1
55	武経開宗 ①卷一 ②卷二	年未詳		中本(木版)	2

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
56	増補改正六用集	年未詳	一枚(木版)	1
57	孟子尽心章	年未詳	一枚(印刷)	1
58	少年携妓看花於飛鳥山之記	年未詳	野紙綴(3丁)	1
59	遠羅天釜正統	年未詳	書冊(印刷32頁)	1
60	答劉秀才論史(後欠)	年未詳	一紙	1
44 詩 歌				
1	今世慷慨叢詩序	明治戊辰(元年)4月	野紙	1
2	有栖川熾仁親王等和歌	明治3年1月24日	こより綴(3丁)	1
3	詩稿	明治10年	横帳(仮綴8丁)	1
4	雜録(先帝御製歌等)	明治16年1月吉日	野紙綴(32丁)	1
5	漢詩(人間洪福在無禍)	己巳元日	色紙	1
6	一夕熱甚不得寢漢詩	己巳仲秋	切続紙	1
7	菱湖卷先生漁父辭	癸亥冬至之前三日	折本(木版)	1
8	としの朝俳句集	西のとし	一紙(木版)折封有	1
9	和翠園先生玉韻	2月13日	切紙	1
10	蓮田市五郎漢詩及和歌	3月28日	一紙	1

翠園自序并識

南山写

有道未定稿

蒲生尚賢謹識

(封上書)「としの朝」

米林彦太郎

蓮田市五郎

11	龍淵漢詩	年未詳		切紙	封筒有	1
	龍淵↓東征諸君 (封上書「河波龍淵↓河地詞兄諸君」)					
12	竹圍閑人漢詩	年未詳	竹圍閑人稿	切紙		1
13	内膳圓之漢詩	年未詳	内膳圓之	切紙		1
14	新淵漢詩	年未詳	新淵↓御輿	切紙		1
15	漢詩(「過俱伽羅」)	年未詳	翠園	切紙		1
16	漢詩(「膏雨有時」)	年未詳	春坡「」	一紙		1
17	和翠園先生之玉韻	年未詳	中村外之作	切紙		1
18	和歌(「鶯」等)	年未詳	七十六翁頼方	一紙		1
19	源氏ゆふたすき(赤染衛門作)	年未詳	八十五女↓河地氏	豎紙		1
20	題温公破瓮図	年未詳	河地権三郎	罫紙		1
21	後藤象次郎・小松帶刀漢詩	年未詳		切紙		1
22	梅田源次郎(雲浜)等漢詩	年未詳		袋綴(8丁)		1
23	佐賀藩田中覺大夫等漢詩	年未詳		切紙		1
24	中秋大參事横公漢詩	年未詳		切紙		1
25	一閑先生大祥期奉供尊靈位前漢詩	年未詳		切紙		1
26	中秋前一日醉之桜漢詩	年未詳		切紙		1
27	文嘉上人等求道九年讚歌	年未詳		切紙		1
28	読諸書京撰近状者戯賦	年未詳		切紙		1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
29	患肺疾心歎題等漢詩	年未詳	切続紙	1
30	幕末風刺歌	年未詳	切続紙	1
31	漢詩并和歌	年未詳	袋綴(17丁)	1
32	詠史等詩歌	年未詳	切続紙	1
33	漢詩(「庚子元旦」等)	年未詳	切続紙	1
34	漢詩(「独居」等)	年未詳	切続紙	1
35	漢詩(「春日偶成」等)	年未詳	袋綴(6丁)	1
36	漢詩(「遊宇治」)	年未詳	切紙	1
37	漢詩(「中秋」)	年未詳	切紙	1
38	漢詩(「菊」)	年未詳	切紙	1
39	漢詩(「次韻」)	年未詳	切紙	1
40	漢詩(「送別」)	年未詳	切紙	1
41	漢詩(「驚雷之歌」)	年未詳	切紙	1
42	漢詩(「歸途寄存」)	年未詳	一紙	1
43	漢詩(「池上篇」)	年未詳	一紙	1
44	漢詩(雪後登陰)	年未詳	切紙	1
45	漢詩(臣茶噺出来)	年未詳	切紙	1

- 46 漢詩(柳橋薄暮頓歸時) 年未詳 切紙 1
- 47 漢詩(送金芝居遊達原) 年未詳 切続紙 1
- 48 漢詩(松寒風破旅人夢) 年未詳 罫紙綴(6丁) 1
- 49 漢詩(断簡) 年未詳 切紙 1

45 能・香

- 1 頭取等三ヶ条相伝書 宝暦6丙子8月9日 折紙 折封有 1
- 2 頭取等三ヶ条相伝書 五郎頭取(印) ↓川村門之丞 (封上書)「免書」 天明8年戊申3月28日 小左衛門(印) ↓河地弥三太夫 折紙 1
- 3 半開口等三ヶ条相伝書 寛政12年庚申仲夏10日 小左衛門(印) ↓河地弥三太夫 折紙 1
- 4 相伝書 ①文化2年乙丑5月19日 ②年未詳 ①折紙 ②一紙 折封有 2
- 5 塗香作法極意書 ①調鼓等二ヶ条相伝書 ②片印 元治2年4月吉日 喬元(印) ↓高橋和三郎 卷子 1
- 6 ツムギ等鳥狩獵書上 戊寅11月 横帳(2丁) 1
- 7 能曲名尽し 望月 田村采女経政 ↓雲井院長良 切続紙 1
- 8 正月能目錄 (端裏書)「御筆物」 正月 切紙 1
- 9 幸流小鼓手配 年未詳 袋綴(9丁) 1
- 10 片印 年未詳 一紙 1

番号	標題	年月日	型態	点数
46 宗 教				
1	三ヶ国日蓮宗寺院書上	元文3年5月改之	横帳(10丁)	1
2	永代千部講中寄附銀受納覚 妙法寺↓河地弥次右衛門 (奥書) 妙典寺、高岸寺、立像寺、妙立寺 (封上書)「河地氏 妙法寺」	文政8年西8月	一紙 折封有	1
3	永代千部講中寄附銀受納覚 妙典寺↓石黒右門 (奥書) 高岸寺、立像寺、妙立寺、妙法寺	元治元年子5月	切続紙	1
4	善光寺如来略縁起 岩下孝四郎著者兼出版人、黄金堂蔵版	明治12年5月	中本(木版7丁)	1
5	年頭御供養料備状 伊藤寿詮↓御大坊 (奥書) 明治17年9月 日布、日霽、日盛、家日坊、学頭	明治17年6月	折紙	1
6	盆供養料備伏 伊藤寿詮↓本山宗務局 (奥書) 12月 日布↓伊藤寿詮	申(明治17年) 11月	折紙	1
7	御大会并年頭御供養料備状 伊藤寿詮、辻量道、木村量実、林量題↓本山宗務局 (奥書) 18年5月29日 日布↓伊藤寿詮、辻量道、木村量実、林量題	酉(明治18年) 3月	切続紙	1
8	中山法花経寺日意曼陀羅	年未詳	軸装	1
9	三井寺鐘由来	年未詳	一枚(木版)	1
10	鞍馬寺山門額等由来書上	年未詳	切続紙	1

47 洋書

- 1 SKETCH OF THE LIFE (OF REV. J. H. NEESIMA, L. L. D.) 明治23年11月10日 書冊(174頁)
 J.D. Davis 著、上田周太郎発行、広瀬安七印刷、丸善商社書店売捌
- 2 GROCERS (JOHNSON BROS. WHOLESALE AND RETAIL) 明治23年 書冊(印刷94頁)
 JOHN PARTRIDGE 発行
- 3 LORD CLIVE 年未詳 書冊(印刷94頁)
 London: LONGMANS, GREEN, & CO. 発行

V 絵 図

- 1 嘉永六年六月北亜米利加船来航之図 嘉永6年癸丑仲秋既望臆写 桐岡主人意 一枚(朱入) ①28×40cm
 ②28×40cm 2
- ①繫泊之図 ②本陣近辺之図
- 2 越前葉原出張之図 元治元年12月11日 一枚(彩色) 29×55cm 1
- 3 長州征討につき長大隅守組陣立之図 (元治元年) 一枚 36×25cm 1
- 4 長州再征配陣之図 年未詳 一枚(朱入) 24×36cm 1
- 5 越後曾地・吉井辺にて小川隊戦争之図 (慶応4年) 5月6日 一枚 29×41cm 1
- 6 末森城合戦等之図 河地保定(二印)写 一枚(彩色) ①36×46cm
 ②28×40cm 2
- ①末森城蹟等之図 ②末森城跡之図
- 7 小松城粗図 年未詳 一枚(彩色) 28×38cm 1

番号	標 題	年 月 日	型 態	点 数
8	從加州手取川越前境細呂木迄地理略図	年未詳	一枚(彩色) 24×70 cm	1
9	石川郡河内村付近図	年未詳	一枚(朱入) 24×36 cm	1
10	能美郡白峰地方其他略図	年未詳	一枚(鉛筆) 24×36 cm	1
11	江戸城本丸間取図	年未詳	一枚(彩色) 56×80 cm	1
12	大州城備図	年未詳	一枚(彩色) 56×80 cm	1
13	膳所城良ノ方粗図	年未詳	一枚 24×35 cm	1
14	建仁寺坊正伝院図	年未詳	一枚 35×47 cm	1
15	建仁寺境内見取図	年未詳	一枚 24×35 cm	1
16	御式台前配備図	年未詳	一枚 24×36 cm	1
17	石山境内より琵琶湖周辺鳥瞰図	年未詳	一枚 24×34 cm	1
18	琵琶湖周辺鳥瞰図	年未詳	一枚 24×34 cm	1
19	大日本全図(1/1,160,000) 陸軍參謀局発行、陸軍少佐木村信卿編次、陸軍十二等出仕濱江信夫絵図(端裏書) 桜井一久所持、河地金代譲受	明治10年	一枚(印刷) 114×120 cm	1
20	福井県管内蚕糸業一覽図	年未詳	一枚(彩色印刷) 59×76 cm	1

明治印刷株式会社印行

河地文庫解説

概要

河地家は加賀八家の本多家に代々仕えた陪臣であり、本多家中では家老や頭役などを勤めた家柄である。本文書群は史料総数が七〇三件七八三点、内容は多岐に渡るが、家政に関する史料が主となる。

史料は五つの大項目、二十三の小項目に分類している。時代的には、大項目の「Ⅰ支配」、「Ⅱ主家・親類」の項は藩政期が中心であり、「Ⅲ河地家」「Ⅳ学芸」については明治期のものも多いが、明確に区分できない史料もあり、本目録では時代区分による項目分けはしていない。

史料には、越中を支配していた佐々成政の判物（佐々成政判物（越前人数の件につき）〔39・11・1〕や、慶長期の知行宛行状（知行宛行状（長井郡中小松之内200石）〔39・33・1〕など、近世初期のものもみられ、河地家の由緒を感じさせる。また、河地家は明治三年に

士族となり、藩の士族方管轄となるはずであったが、「先祖由緒并一類附帳」〔39・31・3〕には「本多資松当分管轄」とあることから、前年の大凶作の影響で由緒帳の提出段階では本多家管轄とされていたことがわかる（由緒帳については、当館所蔵加越能文庫も参照）。なお、河地家の宗旨は日蓮宗、菩提寺は泉野寺町妙法寺であり、定紋は丸ノ内三ツ樫葉、居宅は本多家家中馬場丁である。

分類番号	項目	(件数 点数)	件数	点数
	I 支配	(121件 147点)		
39.11	一般		14	33
39.12	意見書・風説留等		45	50
39.13	政治事件		30	34
39.14	加賀藩		32	32
	II 主家・親類	(58件 65点)		
39.21	本多家		20	21
39.22	諏訪家		40	46
	III 河地家	(316件 340点)		
39.31	由緒・家計・履歴		11	17
39.32	勤仕		50	53
39.33	知行		17	25
39.34	遺書		8	10
39.35	家計		80	80
39.36	土地・建物		38	39
39.37	交際		37	38
39.38	葬儀		33	33
39.39	学業		42	46
	IV 学芸	(188件 206点)		
39.41	歴史		14	14
39.42	兵法・武芸		40	51
39.43	文芸		60	66
39.44	詩歌		49	49
39.45	能・香		10	11
39.46	宗教		10	10
39.47	洋書		3	3
	V 絵図	(20件 22点)		
39.5	絵図		20	22
	計		703	783

河地文庫目録 分類と点数

系譜

河地家は、由緒帳によれば、奥州上杉家の重臣直江兼続の婿養子で、当時直江大和守勝吉と名乗っていた本多政重に出仕した半左衛門を祖とし、明治初年の弥保定に至るまで本多家に仕えた家である。

家祖半左衛門は、慶長十年（二六〇五）に本多政重に召し抱えられ、「知行宛行状」（39・33・1）によれば、奥州「長井郡小松之内二百石」を拝領している。その後、二度の加増によって三百石となり、寛永九年（二六三三）に死去している。

二代弥次右衛門は、同十七年に召し出され、慶安二年（二六四九）に百石拝領し、その後の加増で百五十石となり、元禄二年（二六八九）致仕、同十四年に死去している。

三代团右衛門は弥次右衛門嫡子で、天和二年（二六八二）小将組にて召し出され、元禄二年に相続すると、本多家二代政長、三代政敏、四代政質に仕え、享保三年（二七一八）致仕、同十四年に死去している。

四代伴九郎は、本多家家臣進藤次郎左衛門の二男で、独身であった团右衛門の養子となり、团右衛門致仕によって享保三年に相続（「知行目録」（39・33・2））、本多家四代政質、五代政昌に仕え、同十二年に死去している。

五代内右衛門保高は、本多家家臣諏訪八郎左衛門の二男であったが、先代同様に独身であった伴九郎の末期養子と

なつて河地家を相続し（「知行目録」（39・33・3））、本多家五代政昌、六代政行に仕え、式台取次番などを勤めるとともに、政行の江戸出府に随行し、安永二年（二七七三）に死去している。

六代团右衛門保久は、篠島主馬家来池田丹右衛門二男で保高娘の婿養子となり、宝暦元年（二七五一）に召し出されて中小将組御加用役となる。安永二年の養父死去により相続し（「知行目録」（39・33・6①））、本多家六代政行に仕え、作事所目付や近習目付を経て本多家頭役（頭並近習頭）となり、天明八年（二七八八）十二月に死去している。

七代弥次大夫保曹は保久嫡子で、天明八年に中小将組にて召し出され近習詰となり（「拝領目録」（39・33・7））、衣類方、近習目付を命ぜられ、同年保久の死去により相続し、大組に配属となる。本多家六代政行、七代政成、八代政礼に仕え、七代政成の江戸出府に随行している。頭並近習頭、足軽頭など数職を経て本多家人となり、文化十三年（二八一六）に死去している。

八代弥次右衛門保弘は、篠原織部家来吉川重兵衛二男で、保曹養子として中小将組近習詰にて召し出され、同年保曹の死去により相続（「知行目録」（39・33・9①））、大組に配属となる（「大組申付状」（39・33・9②））。本多家九代政和、十代政通、十一代政均、十二代政以と四代に仕え、当主の江

戸出府、越中巡見に随行するなど、長年の勤仕により二百石に増加している（「知行目録」39・33・12）など。また、足軽頭、持筒頭、近習頭、用人並など多くの職務を経て河地家歴代ではじめて本多家家老役（年寄役）となり、明治二年（二八六九）に致仕、紋付・小袖および金百両を拝領して家督を嫡子保定に譲っている。

九代弥保定は保弘嫡子であり、天保十三年（二八四二）に中小将組にて召し出されて本多家九代政和、十代政通、十一代政均、十二代政以と四代に任せ、嘉永二年（二八四九）には祖父の名前である弥三大夫に改名するよう命じられている。御内密書写御用をはじめ、近習目付、近習頭と当主側廻の職務をこなす一方、父と同様、当主の江戸出府、越中巡見に随行し、度々加増銀を拝領している（「役料銀目録」39・33・13）など。幕末期には当主政均に従い度々上京しており、「御上京御供にて道中在京中日記」（39・32・11）、「上京につき道中並京中様子等覚書」（39・32・12）からは、当時の京都の様子がうかがえる。また、元治元年（二八六四）の水戸浪士西上により越前葉原まで出張し、明治元年に藩主家嫡子の前田利嗣が上洛して大宮御所の警衛を命じられた際には、兵卒半隊長として警備に就いている（「大宮御所御守衛兵卒半隊司令役任命につき口上書」（39・32・14））。この警備については、冬場ということで同僚の南部平蔵と共に毛布を国元に

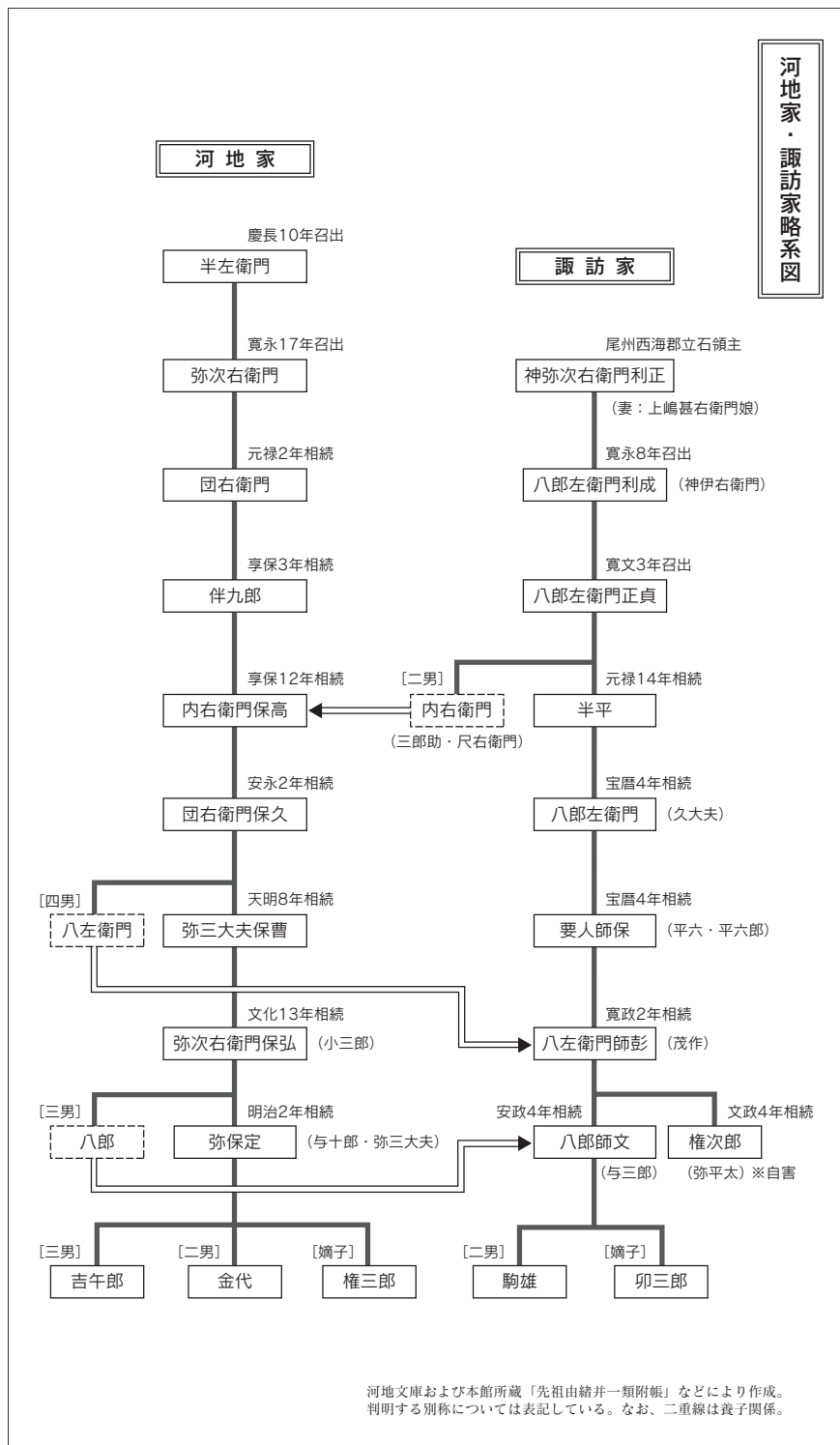
対して要求し、送ってもらっている（「大宮御所御守衛九番隊兵卒フランケット拝借願并許可状」（39・32・17）など）。翌年に帰国し、病で一旦役儀免除となるが、父弥次右衛門の隠居で相続し（「知行目録」39・33・15）、同三年十月に士族となる。死去した年は未詳であるが、「河地保定死去につき悔状」（39・38・4）など、葬式に関する史料が現存している（保定の三男吉午郎の履歴書によれば、明治十八年段階で父保定、祖父保弘は既に死亡している（39・31・7））。

また、保定には三人の男子がいる。権三郎は保定嫡子で、権三郎については明治六年の仙石町小学校「下等小学第五級卒業仮証書」（39・39・2）以降、卒業証書が現存しており、その後石川県中教師範学校に進んだことがわかる（「乙部下等第二級卒業証」（39・39・15））。金代は保定二男で、卒業証書により本多町小学校から育英小学校に進んだことがわかる（「下等小学第七級卒業仮証書」（39・39・1）など）、以降の経歴は未詳である。吉午郎は保定三男で、履歴書によれば（「河地吉五郎履歴書」（39・31・8））、同八年に本多町小学校に入り、同十二年から淳正小学校、そして同十四年からは金沢区中学校で学び、優秀な成績により奨励品が授与されている（「学業優等につき奨励品付与状」（39・39・26））。また、同十六年八月から翌年十二月まで、漢学者黒本植（稼堂）から論語・孟子などの授業を受けている。

以上、明治期の河地家については未詳の部分が多い一方、藩政期においては本多家に仕える家柄において、歴代が近

習頭など当主側廻の職務に就いていることが特徴である。

河地家・諏訪家略系図



本多政均暗殺一件

本多家については、「本多家歴代一覽」(39・21・14)、「本多家御歴代院号書上」(39・21・16)など、歴代にかかわる史料も確認できるが、とりわけ明治二年(一八六九)八月におきた当主本多政均の暗殺に関する史料が多い。

本多政均は、安政三年(一八五六)十二月に家督を相続すると、翌年四月には御用加判、人持組頭となり、同十二月に叙爵(従五位下諸大夫)、播磨守を称している。主に藩主前田慶寧のもとで藩政を担い、明治元年(一八六八)末には藩の執政に就任して藩政を担当し続けていたが、同二年八月に金沢藩の山辺沖太郎、井口義平によって金沢城二之丸御殿で暗殺されている。

この暗殺の実行犯は、籤引によって選ばれた前述の山辺、井口の両名であったが、そのほかにも菅野輔吉、土屋茂助、岡野外亀四郎、岡野悌五郎、多賀賢三郎、松原乙七郎、岡山茂、石黒圭三郎らが関与したとされる。その後の山辺、井口の口述書では、本多政均を奸賊の巨魁とし、「天朝を輕蔑し御政権を致專横候」人物であると述べているが、この一件は、当時の反政府意識の高揚と、それに伴う尊王攘夷運動との関連も疑われたため、中央政府からも大巡察が派遣される事態となった。結果、山辺、井口は刑獄寮において自裁(自決)、菅野は三年間の自宅禁錮、多賀、岡山、

岡野悌五郎は七十日の閉門、松原と石黒、岡野外亀四郎は無罪との判決が為されている(土屋は、暗殺直後に自害)。

本多家については、政均の積年の功績に対する破格の恩典に加えて、一時的であるにせよ本多家断絶という衝撃を藩が憂慮したことにより、即日嫡子資松(後の政以)への遺領相続が認められた。しかし、家中は納得せず、暗殺の翌月には、本多家家老役篠井ら四名連名にて藩の政事堂に嘆願書を提出している。家中が動揺して騒ぎ立てることのないようにとの藩の命令に対し、恐縮ではあるが、私たちの断腸の思いを察してもらい、裁決後には山辺、井口両名の身柄を引き渡してもらいたいと主張している(「本多政均暗殺につき怨敵下賜嘆願書」(39・21・5)など)。

しかし、この嘆願は聞き入れられず、本多家中では仇討に向けて動き出すことになる。仇討対象者の優先順位について「先君仇討之義につき書状等」(39・21・6)では、怨敵山辺、井口が刑務所から出てくるようなことがあれば論に及ばず、両名が処刑の場合には多賀賢三郎らを怨敵の対象者とすることが合議で決められている。勿論、家中の皆が仇討に賛同していたとはいえないが、河地家がここまで把握していることから鑑みても、仇討は家中において概ね共有されていたといえよう。

そして、明治四年二月に山辺、井口が刑に処せられると、

同年十一月遂に多賀以下を対象とした仇討が実行され、菅野輔吉、多賀賢三郎、岡野悌五郎を殺害するに至る。翌五年、仇討の実行者である本多家家臣本多弥一以下、刑が執行されたが、子孫への相続は許されており、本多家の菩提寺である大乘寺に葬られている。仇討を実行した者たちの主家に対する忠誠は、前掲の「先君仇討之義につき書状等」にある「此後御幼君義宜敷奉願候」の一文に顕れているといえよう。

誦訪家

河地文庫には、親戚筋である誦訪家の文書群も現存しており、明確なものを「誦訪家」として分類している(39・22)。主家の本多家が発給した知行宛行状、知行所附状が大部分を占めるが、とりわけ所附状が多く、家禄が同じでも代によつて与えられる村が異なっていることがわかる(なお、史料中に「誦方」とあるものについては、本目録では「誦訪」と表記している)。

誦訪家について簡単に整理すると、神弥次右衛門利正の代では、織田信長、信雄、信孝に仕え、豊臣秀吉の朝鮮出兵において戦死したとされる。次代の伊右衛門は、大坂の陣後に一旦金沢に流れ、誦訪八郎左衛門利成として加賀藩家臣の神尾主殿に仕えたが流浪し(「知行宛行状」(39・22・4

①)、寛永八年(二六三)本多政重に百五十石にて召し抱えられ、以降は累代本多家に仕えることになる。

河地家との関係については、享保十二年(二七二七)八郎左衛門正貞の二男内右衛門が河地家を相続したことで親戚関係となり、寛政二年(二七九〇)に河地团右衛門保久の四男八左衛門が誦訪家を相続している(「知行所附之事」(39・22・18)、「知行目録」(39・22・19))。

そして、安政四年(二八五七)には、先養子が逆上により自害したため、河地弥次右衛門保弘の三男八郎が婿養子となつて誦訪家を相続している。この八郎は本多政均暗殺における仇討に関わっており、明治四年(二八七二)十二月に逃亡中の石黒圭三郎を追いかけるも仇討を果たせなかつたことから、横浜の番兵衛所で自害している。誦訪八郎も他の仇討を実行した者たちと同じく大乘寺に墓があり、誦訪家は子の卯三郎が相続している(「遺祿相続申付状」(39・22・31))。

幕末維新期

また、河地文庫の特徴の一つとして、幕末維新期の政治史料が多いことが挙げられる。ここでは、「意見書・風説留等」(39・12)、「政治事件」(39・13)、「加賀藩」(39・14)の項目に分類している。

「意見書・風説留等」の項では、「魯西亜書翰和解」(39・12・

1)、「唐国風説および亜米利加規定書同蘭文和解」(39・12・8)といった諸外国の来航に関するものや、文久期以降の政治状況を反映した「京都御沙汰書之覚」(39・12・16)、「京都取沙汰書」(39・12・17)のような留類、「薩州公(島津斉彬)上書」(39・12・4)、「毛利公(敬親)建白之旨等覚書」(39・12・11)などの建白書類がある。このような政治情報の分析は近年重要度を増しており、情報自体の内容のみならず、情報を媒介とした人的ネットワークについての関心も高まっているが、河地家もその一員であった可能性もあろう。

「政治事件」の項では、水戸浪士西上一件(天狗党の乱)に関するものが多い(「水戸浪士西上軍中日記」(39・13・1)、「水戸浪士降伏一件につき書状等留」(39・13・6)など)。水戸藩内の尊攘激派で構成された天狗党は、元治元年(二八六四)三月筑波山で挙兵、その後在京の一橋慶喜に対する陳情を目的とし、武田耕雲斎、藤田小四郎らが上京を開始している。加賀藩は、命令を受けて同年十二月に藩士永原(赤座)甚七郎らを出張させており、同月下旬浪士らは加賀藩に降伏している。そのほかの事件としては、長州征討や大政奉還、王政復古、鳥羽・伏見の戦といった幕末期の政局に直接関わるものがみられ、特に「長州征討苦戦につき心得申渡状」(39・13・16)や「参内被留候御方并禁門御固メ衆等書上」(39・13・22)などは、該当事件の緊迫度を伝える格好の史料

といえよう。

「加賀藩」の項では、幕末維新期の政治過程における加賀藩の動きを示すものが揃っている。「前田慶寧退京につき前田斉泰親翰等留」(39・14・3)では、元治元年禁門の変で無断退京した世嗣前田慶寧の親翰がみられる。藩主前田斉泰の見解に対して異存を申し立ててはならないこと、使者の年寄前田直信が如何なる内容を伝えてきても、臣子の大道により是非を論じないよう申し諭しているが、この親翰は慶寧の心情がうかがえる好個のものである。

さらに、「徳川内府討薩協力につき前田慶寧親翰」(39・14・10)は、鳥羽・伏見の段階での徳川慶喜の檄文をうけ、藩主前田慶寧が徳川家支援のために派兵することを宣言したものであり、「北国筋鎮庄御沙汰書」(39・14・24)では、加賀藩が北越戦争(戊辰戦争)に参加する契機となった朝命が書き認められており、いずれも加賀藩の行動を規定した重要なものである。

河地家がこのような政治史料を入手した理由については今後の課題となろうが、同時期に前田土佐守家家老役であった南保大六も政治史料を残しており(当館郷土史料)、幕末期における陪臣の実態を知る上でも示唆を与えてくれる文書群であることは間違いない。

河地文庫目録

平成二十六年三月

編集・発行 金沢市立玉川図書館

〒920-0863 近世史料館
金沢市玉川町二番二〇号

電話〇七六(二三二)四七五〇

FAX〇七六(二三二)六九三八

印刷所

田中昭文堂印刷株式会社
電話〇七六(二六九)七七八八
FAX〇七六(二六九)七三一

表紙	レザック66	175kg (四六判)	見返し	再生上質紙	110kg (四六判)
本文	書籍用紙	70kg (四六判)	写真	再生コート	135kg (四六判)